京城日報

本紙定價　一部金參錢　一ヶ月金七拾五錢
廣告料金　五號十五字詰一行金
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

十月九日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇聯合國と講和問題
巴里會議開催か＝議事內容如何＝注目す可き米大統領の態度

勃牙利の離脫に愈屈古乖たる獨逸は遂に講和の提議を爲すに至り今や平和熱望の氣運歐洲の天地を風靡するの狀態となりたるが而も其實現を見る迄には尙ほ相當の時日あるものの如く察せらるる聯合國側としては今日直ちに應ずるの時機に非ずとなすが至當ならんも尙ほ此際講和に關する

△大體の方針を決定し講和にせよ非講和にせよ聯合國側の步調を一にすることは最も必要なれば近く巴里に於て會議を開催せらるべく伊太利首相オルランド氏は是が爲め既に巴里に赴きたるが英、米、日其の他の代表者に就ては未だ聞く所なきも多分在佛各國大使を以て各本國を代表して參加せしむることなるべく議事內容如何に依りては更に大使以上

△重要人物の參加を見るべしと期待せらる而して此場合に於ける米國大統領の態度は最も注目すべく寧ろ講和問題の決定は恐くウヰルソン大統領の態度如何に在りと見るも不可無きが如し最近勃然として起れる講和問題に對しウヰルソン氏は未だ一語も發せず胸中何事を藏するか

△世界の注目は齊しく同氏の身邊に集注せられつゝあるかの觀あり若夫既報合同通信に依つて傳へられたる獨逸の講和條件に就て見るに固より是だけにて講和の成立を見ることは望み難きも而も獨逸が漸次屈伏し來るべきは否定すべからざることなれば講和條件の如きは聯合國に有利なる樣加除せらるゝこと、なるべく觀測せらる（東京特電）

◇勃牙利屈服原因
八日其筋著電に依れば勃國首相マリノフ其他協商側に同情を有する當局一般の勢力が勃牙利今回の行動に預かりて力ありしは勿論なるも其原因は（一）六年に亘り戰爭をなし居れる國民及び軍隊の疲困（二）ドブルヂア問題に對する勃國民各級の中央側に對する不平（三）本年旱魃の爲め農家家畜の減少（四）首府に於ける飲料水の缺乏鐵道電車電話の營業停止（五）穀物の不作より生ずる軍隊及び國民給養の粗惡等にして最近ソフィヤ市民の示威運動あり戰爭の繼續は革命的大椿事の勃發を豫期し得るに至り國王も止むなく屈伏に同意し各政黨國民の同情亦茲に集まれり而して獨逸國民も昨今此の事情を知り不安に堪へざるに至りたるもの、如く出來得べくんば獨逸軍隊を以て巴爾幹の防禦線を確保し且君府行鐵道線の掩護を全うすべしと論じ居れり（東京特電）

◇同盟側休戰申込
六日佛國里昂發無線電信に據れば獨逸墺太利土耳其の三國はウヰルソン大統領に對し講和談判開始の爲め即時一時的休戰を申込みたり（倫敦電報）

◇英外交官の聲明
英國外交官は獨逸が聯合國領域より全然撤退せざる間は休戰せざるべしと聲明せり（倫敦電報）

◇勃軍隊解除命令
勃國マリノフ內閣は留任したるが新國王は軍隊動員解除命令を發せり（アムステルダム電報）

◇フランダース獨逸撤退確實
フランダース海岸の獨軍撤退は確實にして獨軍は軍需品銃砲糧食等を各村より輸送中なり尙彼等は莫大の糧食をガン（白國都市）より獨逸方面に輸送しつゝあり又ブルージュ（白國西部都市）船渠は火災中なりとの報あり（倫敦電報）

◇和蘭講和勸誘否認
和蘭外務省公示に曰く和蘭が各交戰國に向ひ講和商議の勸誘狀を發せる旨維也納より報道ありしも右は全然事實に非ずと（海牙電報）

◇獨軍戰線退却
獨軍はシャンパニューにて四十五粁の戰線に亘り退却しつゝあり（巴里電報）

◇獨白沿岸放棄準備
獨軍は今や白耳義沿岸地方の放棄準備を整へ又ミューズ地方の退却を急ぎ居れるが這は困難なるに先だち全軍の退却を完了せざれば軍の潰滅を免れざるところなるを以て之れを避けんとするにあるものと解せらる（巴里電報）

◇ヒ元帥辭表提出
獨逸參謀總長ヒンデンブルグ元帥は卑劣の態度にて獨軍退却の避く可からざるを獨帝に報告し直ちに辭表を提出せり（倫敦電報）

◇獨逸講和に眷戀
ライン河流域及びランド（佛西南部）に於ける英國飛行隊の活動と與國軍の敗走と食物の粗惡とは獨國民の意氣を沮喪せしめ獨逸は領土を割讓する迄の決心は無かる可きも講和に眷戀たる事甚しく講和實現の爲ならばアルサス、ローレンをも擲つなる可しと（倫敦電報）

◇獨逸新內閣顏觸
獨逸新內閣は合議制にて宰相副宰相無任所大臣二名は特別會議を形成す可く新閣員の顏觸左の如し（ストックホルム電報）
宰相マックス▲副宰相パイエル▲無任所大臣シャイデマン（外中央黨員一名）▲外務大臣ゾルフ（植民大臣兼任）內務大臣スタイン▲新聞大臣エルツベルゲル▲糧食大臣スタイン（兼任）▲大藏大臣レーデルン（留任）

◇米國上院獨逸提案排斥
米國上院は獨逸の提案を極力排斥す可き事を討議せり（華盛頓電報）

◇米藏相國民激勵
米國藏相ウイリアム、ギッブス、マカドー氏は自由公債應募を中止する事無く終局の勝利を得る迄奮鬪せざる可からざる時なりと國民を激勵せり（華盛頓電報）

◇英海相等米國行
英國海相サー、エリック、キャメル、ゲデス氏以下數名は聯合國海軍計畫に關する重要會議の爲め華盛頓へ到著せり（華盛頓電報）

◇米講和提案接受
華盛頓來電＝米國政府は獨逸及び墺太利の講和提案を接受せり（東京特電）

◇米國戰時輸入禁止改正
米國戰時通商局が七月十七日附を以て六十パアセント以下のコッパア、コンセントレイトは玖馬、加奈陀、墨西哥より來る物を除くの外輸入を許可せざる事とせる旨在米石井大使より來電の次第は甞に之れが發表せるが右に關し十月四日附新規則を以て前記六十パアセントを五十パアセントに改むる旨公表せられたる趣き今般在米石井大使より其筋に來電ありたり（東京特電）

◇獨講和提議と米紙
米國新聞紙は獨逸宰相マックスミリアンの講和提議に關して論說を揭げたるが孰れも講和は獨逸の無條件降伏に依てのみ可能なるべしと云ふに一致せり（桑港電報）

◇米國民樂觀せず
華盛頓來電＝米人の意氣は無謀なる樂觀に傾かず中歐帝國を屈服せしむる途は殘す處無き迄獨逸を猛打するにありとの觀念徹底し居れり假令土耳其、墺太利が勃牙利の例に倣ふも又獨逸がムーズ河ライン河に退却するもウヰルソン大統領が講和の命を降さゞる間は講和を念頭に置く可からずと思惟し居れり（倫敦電報）

◇英佛公債活躍
八日著電に據れば英佛の公債は戰勝の結果大いに活躍せり（東京特電）

◇兩政府調印覺書
西伯利政府首相ウオロゴッキー及びホルワット將軍の間に九月三十日附を以て協定調印せられたりと稱する覺書は十月六日浦鹽各新聞に發表せられたり其內容左の如し（浦鹽電報）
一、國家的利益の爲めには唯一の全露西亞政府の存在を必要とす
二、西伯利政府及びホルワット政府の政綱は互に牴觸するところ無し
三、前記の事情により之等兩政府機關の併合は希望するところにして且つ最近の中に實現せられざる可からず

◇ブレスト條約破棄理由
英斯科よりの公報に據れば露國過激派政府は土耳古がバクーを占領せる結果ブレスト、リトウスク條約破棄の旨宣言せりと（桑港電報）

◇山東鐵道守備交代
日支兩國協議の結果山東鐵道守備の日本兵は既報の通り一部を殘して全部撤退し支那巡警之れに代りて警備の任に膺る事に協議纏り近く實施さる可しと（北京特電）

◇徐氏に最後勸告
陸榮廷、岑春煊兩氏は徐世昌氏に打電し、十日就任せざる事を勸告し西南は段氏の就任如何に依り妥協に誠意あるや否やを卜せんとす西南方の反對を防がんとせば須らく茲に注意せよ予等は之れを以て最後の忠告と爲す旨通告せり（北京特電）

◇幣制借款契約延期要求
四銀行團は本月十四日にて幣制借款契約有効期限終了するを以て延期を求むる旨の公文書を遞れり尙銀行團は右契約延期と共に直ちに幣制改革の商議に入る可しと（北京特電）

◇陸軍要路補任決定
八日閣議に於て缺員中なりし參謀次長陸軍次官補任決定したれば九日左の如く發表せらるべし（東京特電）

第五師團長 陸軍中將　福田雅太郎
免本職補參謀次長

陸軍中將　山田隆一
補第五師團長

教育總監部本部長 陸軍中將　山梨半造
免本職補陸軍次官

◇中野武營氏
實業界の元老中野武營氏は遂に八日午前十一時半本鄉元町の自邸に於て逝去せり同氏危篤の報　天聽に達するや氏が生前の功勞を思召されて左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり（東京特電）

正七位勳三等　中野武營
叙從六位（以特旨位一級被進）

□略歷　君は香川縣士族中野可一の長男にして嘉永元年一月三日を以て生れ明治四年四月家督を相續す維新後香川縣吏より生じて權少屬と爲り地租改正事務員として縣外に出張し改租の功を爲す南戰爭當時職を熊本縣に奉じ公事に鞅掌す後山口縣吏となり尋で農商務省少書記官に推んで幾くもなく河野敏鎌と袂を連れて辭職し大隈重信を推して立憲改進黨を組織し明治三十一年郷里より推されて愛媛縣會議員となりて議長に推さる此間香川縣再設の事に就きて功あり河野氏の東京株式取引所頭取に推さるゝや君亦入りて肝煎と爲り副頭取に進む後關西鐵道會社々長に擧げられ二十三年帝國議會開設に際し衆議院議員に當選し爾來其選に當ること八回に及ぶ諸會社の重役となり又東京商業會議所會頭たりし事あり又大正二年六月教育調査會の設置せらるゝや其の會員を命ぜられ三十九年日露事件の功に依り勳五等に叙し尙實業界に盡したる功勞を以て勳四等に陞叙せられ尙後勳三等に陞叙せられたり

◇加藤前司令官
浦鹽派遣艦隊司令官たりし加藤寛治少將は黑龍鐵道沿線を視察し更に滿鮮を經て去る六日著關八日午前八時四十分歸京加藤海相島村軍令部長を訪問報告を爲したるが近日宮中に參內　天皇陛下に拜謁仰付けらる筈（東京特電）

◇市川少將通過
過般來高師ヶ原陣地攻防演習見學の爲出張中なりし朝鮮軍參謀長市川少將は九日朝釜山入港の新羅丸にて上陸同十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

◇國分長官消息
國分司法部長官は七日夜著安元賓館に投宿し八日領事裁判を視察し領事の午餐會に臨み九日午前十時半發列車にて荻田總務局長の來著を待ち同行北方に向へり（安東特電）

◇福岡縣視察團
福岡縣教育視察團一行廿九名は九日午前六時半著安學校其他を視察し公會堂にて民會よりの茶菓の饗應を受け同縣人會の午餐會に臨み後汽艇にて鴨綠江を視察し新義州に赴き同地縣人會の招待に臨み引返し來安一泊の上十日朝南行の筈（安東特電）

◇岡山縣視察團
岡山縣學事視察團長前縣視學武居魁助氏以下小學校長訓導等一行二十一名は九日午前關釜聯絡船新羅丸にて釜山上陸學校其他を視察の上午後一時三十分釜山驛發列車にて北行したるが今後京城新義州奉天大連旅順青島等を視察の上二十八日頃再び鐵道に依り朝鮮經由岡山に歸還の豫定なりと（釜山特電）

◎政務總監東上
山縣政務總監は遠藤秘書官及び宍戶男を隨へ九日午前八時五十分南大門驛發列車にて東上せり

◎鮮銀幹部異動　庶務局長新任
朝鮮銀行にては缺員となれる庶務局長國庫課長の補任その他支店長本店幹部に五日附左の如く更迭を行ひ九日發表したり

檢査役　横山直穗　庶務局長心得
仁川支店長　鶴島豐治
營業局勤務　常世克己　檢査役を命ず
營業局勤務　松崎彥一　仁川支店長
長春支店長　高橋武夫　營業局總務課長
哈爾賓支店次席　堤永市　長春支店長
滿洲總支配人附　倉富鈎　庶務局國庫課長兼營業局勤務

尙吉田營業局長の總務課長事務取扱ひは高橋氏の課長新任と共に免ぜられ同事達山本西喜久男の兩氏は東京出張を命ぜられたり又遠山氏の部局は尙未定にして氏の檢査局長說は單なる風說に留まる如し

◎國稅徵收狀況
京畿道五年度國稅にして本年度所屬のもの八月末現在徵收狀況を聞くに左の如し

▲地稅　調定濟額及調定外濟額合計七十五萬五千七百二十二圓九十二錢五厘に對して九十五萬五千四百五十三圓十錢〇五厘の收入あり此徵收步合九分九厘九毛
▲戶稅　調定濟額及調定外濟額合計七萬四千零三十四圓八十五錢に對して七萬四千十六圓三十錢の收入ありこの徵收步合九分九厘九毛
▲家屋稅　調定濟額及調定外濟額合計八萬二千二百六十五圓五十九錢に對して八萬二千三百二十圓七十四錢の收入あり此收入步合九分九厘九毛
▲酒稅　調定濟額及調定外濟額合計六萬三千五十九圓八十七錢に對して六萬二千四百九十三圓三十四錢の收入あり此收入步合九分九厘六毛
▲煙草稅　調定濟額及調定外濟額合計六十四萬三千八百三十五圓四錢に對して六十四萬三千七百八十八圓零四錢の收入あり此徵收步合九分九厘九毛
▲鑛稅　調定濟額及調定外濟額合計六萬三千三百二十圓三十錢に對して六萬零八百四十九圓八十三錢の收入あり此徵收步合九分六厘
▲所得稅　調定濟額及調定外濟額合計二十四萬一千九百八十一圓七十二錢に對して二十四萬一千九百八十一圓七十二錢全部の收入あり
▲雜稅　調定濟額及調定外濟額合計五千五百八十七圓四十四錢に對して五千五百八十圓二十二錢の收入あり此徵收步合九分八厘五毛
▲朝鮮銀行券發行稅　調定濟額五萬七千九百七十二圓十七錢に對して全部の收入あり
因に調定濟額及び調定外濟額合計二百二十八萬八千三百三十五圓四十五錢五厘に對して二百二十八萬四千三百八十三圓四十六錢五厘の收入あり此の徵收步合は九分六厘八毛を示したる譯なるが

▲前年度に對比し調定濟額地稅二千五百八十三圓九十三錢減少したるは主として京城府に於て市區改正の結果道路地となりたるもの多かりしに因り同戶稅五百五十三圓九十五錢增加したるは自然戶數の增加及び極貧者納稅者の同數に因り同家屋稅八百九十七圓五十五錢增加したるは戶稅と同一の理由に因り同酒稅六萬六千三百十六圓六十六錢增加せしは前年度は改正稅令の適用を受けたる期間短かりしに因り煙草稅十六萬谷三百七十圓增加したるは生活程度昂上せしに伴ない製造煙草の增大を來したると小賣價引上等の結果著るしく消費稅に於いて增加したるに因り鑛稅一萬五千百六十四圓六十八錢增加したるは鑛業勃興に伴なふ

▲出願人增加の結果として鑛區稅に於いて增加したるにより所得稅十六萬四千四百七十六圓二十八錢の增加は前年度は中途より稅令施行せられたると所得決定遲延のもの多かりしに本年度は處理著しく進捗し所得決定のもの多かりしに因り雜稅に於いて百六十八圓二十錢增加したるは特殊の事由を認めず又鮮銀行券發行稅は本年度始めて實施せられたるものにして前年度該當の事項なし

◎辭令
七日附左の通り發令ありたり

總督府稅關長　平井三男　仁川稅關在勤を命ず
總督府事務官　今村武志　度支部專賣課長を命ず
同 道事務官　松本誠　京畿道第二部長を命ず
同上　大庭米三郎　慶尙北道第二部長を命ず
總督府事務官　矢島杉造　內務部第二課長を命ず
同　富永文一　內務部第一課勤務を命ず
總督府警視　時永浦三　警務總監部保安課長を命ず

◎鮮銀券發行高
九月二十九日より十月十五日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は八千百二十六萬二千七百七十圓にして週末の發行高は八千二百九十八萬八千七百二十八圓なりと

◎加藤社長歸京
上京中なりし加藤本社長は九日午後九時十分南大門驛著歸京の筈

人事消息
▲中島八郎兵衛氏（朝野鳳安採金所長）九月朝入京浦尾へ
▲佐伯顯吉氏（大阪鐵業家）同上
▲堀凍氏（東拓大邱出張所長）同上

茶前酒後
◆ヒンデンブルグ元帥は、獨軍退却の避くべからざるを慨し、辭表を提出せりと。ヒンデンブルグの慨慨は、其の實質に於て、獨軍の退却には非ざるべく、即ち軍閥派の衰退に關してなるべし、獨逸新內閣が、合議制を採り、更に宰相、副宰相無任所大臣二名を以て特別會議を形成する等、今迄の獨逸戰時內閣に見て、餘程の變化を示せるは、之れ軍閥派の跋扈、昔日の如からざるを示すものに非ずして何ぞや。殊に無任所大臣中には、軍閥派と相容れざる、社會黨首領シャイデマン等のあるに見ても、軍閥の棟梁ヒンデンブルグが憤慨するは當然也。◆然れども今日獨逸新內閣が軍閥を除外して、事を行はんとするは非常なる危險と、困難を有すべく若し夫新內閣にして、全く軍閥を除外し、其の目的を達せんとせば內閣自身が先づ以て危かるべし。マックスミリアン公亦、茲に留意あらば勿論、其提議せんとする、講和條件の如きも、軍閥派の有する希望に近からんものたるべきは論を俟たざるべし。◆獨逸の講和條件として、傳へらるるものを見るに、到底聯合國の認容を許さゞるものあり。新內閣が果して講和の成功を期せんとせば、尙ほ一考を要すべき也。現在の獨逸は、兵力疲弊したりと雖も未だ最後の決戰をなすべく、武力は缺乏せりと云ふを得ざる也。新內閣の講和は、寧ろ對內政策に重きを置くに非ざるなきか。要するに聯合國の講和承認迄には、未だ〳〵多くの紆餘曲折を要すべし。◆然れども巴爾幹の形勢、急轉直下より、獨逸が孤影窮然、致命傷を負ひたるは事實也。今や四面楚歌、其最後の日の近付きつゝあるは事實也。ボンペイ最後の日の一篇は、曾て世界の識者子に愛讀されたり。歐洲の天地平和克復して世界地圖の色別變りたる時に於て獨逸最後の日の一篇、文豪の筆に上るの日も亦、遠き將來には非ざるべし。而して何人が、此一大著述に筆を染んとするか。

□新義州より
文學士　和田清

拜啓　九月三十日午後十時にて東道の加藤滿鐵氏に別れて新義州に向ひ申し候。遲刻れたる汽車は澁波濤川の邊りより夜に入りて隣室の萩野、田中兩學士も忽ち睡魔の手に陷らせ給ふ。獨り耿窓に倚れば旅愁今更らに新たに御座候。釜山上陸以來既に三十日各地の風物に接して多大の興味を得し朝鮮廻りは實は今回の旅行の一序幕には過ぎざりしも初め三十日の序幕はやがて向後二百餘日の本幕を支配すべき強き印象を殘して明後日は遠く滿洲の奉天に去らんとす。去るに臨んで赤誠惜別の念あり敢て書を裁して京城日報讀者諸士に謝意を表し申候

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目　振替貯金京城一〇六一　電話一三一・七
頭取　佐々木勇之助
支配人　西村道彥

旅行用具一切
毛布各種
專賣品柳製鞄
東京製鞄各種
國旗附屬品共
魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
高木旅行用具店
京城本町一丁目電話一二四番

バーカー印　最新式
東郷印
業務擴張現物廣告一部二寡特價提供
製糊機　貸附　代金は使用後御拂　圖入說明書送呈　見本　貸出申込
專賣特許　一日五反扱　稻扱機
有兩機共販賣店へは見本機無料提供長期貸附旅費支給
大阪市築港　電西五〇七　藤田商店

於第三回帝國勸業共進會（大正七年八月濱松市ニテ）
進步一等賞金牌受領　清酒　松上鶴
有功一等賞金牌受領　清酒　武國
釀造元　丸三合資會社
大邱府幸町

價格廉ニシテ織絣ニ優ル
美雲大嶋
到ル所ノ吳服店ニアリ

釜山阪神間定期船開航
釜山澤山兄弟商會所有船
快速力鐵船　山光丸（壹千壹百噸）
釜山阪神間一ヶ期運航月四往復定
初航―十月十日釜山出帆
大正七年十月五日
釜山　澤山兄弟商會
電話長七五〇番　八六〇八番　一六番

西伯利従軍記

▽快男子セミヨノフ

眞にこれ憂國の志士

彼の政治思想は極めて進んだ公平なもの、彼は蒙古人の血を享けてゐる

從軍記者　早川磐溪

施身與乃夫軍にある黒木大尉は滿洲里行き特別列車にて語る　施身與乃夫は剛健不屈の快男子で信ずる處あれば直ちに之を斷行する處に彼の今日を爲した所以があるだらうと思ふ、彼は決して

▽政治的野心を　抱いて居るのではない、只露國の秩序を回復して、國民に物資を與へ生産に從事せしむるのが唯一の目的である、只秩序回復には劍を要する、力を要する、非常の場合には非常の手段を要すると言ふので大なる軍權を握らんとして居るのであるが、其の軍權を行ふ段になると、彼の強靱な意志の力が其まゝ發揮されるから痛快である、彼の東清鐵道の罷業騒ぎのあつた際にも、日本兵に信頼して居たが、一向に恢復の見込みがないので『宜しッ此の上は俺の手で奢しつけよう』と直ちに

▽装甲車二臺を　飛ばして哈爾賓方面に向はせた、其裝甲車には撰ち撰つて、猛者持ちの將校を乘込ましたものだから、主要驛に入ると直ちに從業員を集めてさあ仕事をしろ、嫌とあれば懲うするぞ、罷業の煽動者を死刑に處したり、命令に從はぬ奴を笞刑に處したりしたものだつた、其權幕に恐れて二週間目に從業する事になつたのであるが、之を見た例のガイダが時分は宜しとあの命令を下したので、世間ではガイダの一喝の効力に驚いたらしい、彼の眼中には西伯利政府もオムスク政府も何者もない

▽彼等が政權を　得るために勝手な熱を吹いたりするのが堪まらなく嫌なので今後は信ずる所に向つてどし〳〵遣つ付ける覺悟である、それと共に二個師團編成の準備に着手して、今の處チタで一個師團だけは出來たが、どうせ無頼不逞の徒や過激派かぶれの者が多いから二三回解散しなければ健全分子のみを以て編成する事は出來ない、彼は絶對に兵權に信頼して居るので、舊思想に囚はれてゐるかの如く誤解され易いが、彼の政治思想は、極めて進んだ公平なものである、彼は今盛んに現はれつゝある政府は起倒常なく、輿論の代表者でもなければ權力を有する者でもない、無政狀態の下に長く置いたならば、露國は各國の蠶食する處となり、

▽民は益々塗炭　の困みを受けねばならぬ、故に之が救濟策としては先づ兵權に依つて國内を統一し輿論に從つて專政々治なり共和政治なりを樹て、幾度か輿論の洗禮を受け、幾度か革命を行つた後、始めて人心を安定ならしむるに足る政體を樹立すべきであると言つて居る、民衆の力を認め、輿論を尊重し、思想上の變遷に伴はざるべからざる事を是認して居る處が彼の進んだ、大なる處であらう、彼が日本の國家で日本に信頼する念の強い事は何人も認めて居るが、彼が極東は日本に依り支持さるべきものであつて

▽他の國が横合　から手を出すべきものではないと言つてる程筋合のものであるから、聯合國の西伯利出兵に對しては極力反對の位置に立つ心算ぶものである

てゐる、彼が曾て日本出兵に反對した露國の有力者に對して宣言した處に依ると、日本人は荒涼寂寞たる西伯利に於て農を營み、牧畜する事を欲しない、從つて領土欲は毫もない利權は日本一國ならば一國の關係以外に出でないが聯合各國が潮の如く押し寄せたならば

▽利權獲得熱は　互ひに煽り煽つて倍々大きくなり、遂には西伯利をして、第二の支那たらしめる危險がある、日本國は正義の觀念が強い夫に反して經濟力が微弱だから何事愛慶するを要せぬが善當り恐る可きは支那人である、彼等は遊牧に適し、野獸的勞働に堪へ得る國民である、善良な怠惰な露國人を北に逐ふのは支那人であらねばならぬ、故に余は日本出兵を極力歡迎する、極東に於て日本を閑却したならば、それは暗夜に燈明を失ふも同然であると觀よ如何に其の達見なるかを、彼の日本信頼の念は只單に

▽蒙古人の血を　享けてゐる亞細亞人種なる自覺に依るのみではない眞に露國を愛ふるの心からである我等は西伯利に斯の如き人物が蹶起して露國を混亂から救ふ事を衷心喜ぶものである

□優渥なる御沙汰

關東都督へ傳達

出征軍御慰問使中田侍從武官は五日關東都督府陸軍部に於て中村關東都督に對し左の如き　天皇皇后兩陛下の　聖旨及令旨を傳達せり

聖旨

天皇陛下ニ於カセラレテハ今囘ノ時局ニ關シ都督以下一同ノ勤務ヲ深ク苦勞ニ思召サレ其狀況ヲ質査セヨト御沙汰アラセラル

令旨

皇后陛下ニ於カセラレテハ都督ヲ始メ一同ノ衛生狀態ニ深ク御心ヲ注ガセラレ向寒ノ折柄一層身體ヲ大切ニセヨ又負傷者ニ在リテハ充分心ヲ用ヒテ攝生スベシト御沙汰アラセラル

右に對し中村都督は

優渥ナル　聖旨ヲ賜リ感激ノ至リニ堪ヘス　益々奮勵シ優渥ナル　聖旨ニ報ヒ奉ランコトヲ期ス

と奉答せり又兩陛下より清酒三樽御紋章附き莨三千本を御下賜あらせられたり、尚中田侍從武官は六日午前七時出發北行せり（旅順電）

○政治家肌の實業家

逝去せる中野武營氏の事

北海道から歸ると直ぐ尿毒症

日清生命朝鮮支社長　横田淵三郎氏談

實業界の重鎭中野武營氏逝去の報を齎し日清生命朝鮮支社長横田淵三郎氏を訪へば　故中野武營氏は讃岐國高松藩士中野可一氏の長男で嘉永元年の生れである、明治四年に家督を相續し同五年香川縣權少屬、同十年熊本縣屬となり次いで内務省に入り農商務省書記官に轉じ同十四年農商務卿河野敏鎌氏が職を辭したので之と共に野に下り大隈重信氏に從つて

▽立憲改進黨　創立に盡力し黨勢振作に努め同黨の飛將として仰がるるに至つた、同二十一年郷里から推されて愛媛縣會議員となり同議長に擧げられ後河野氏が東京株式取引所頭取に推された時氏も亦入つて副頭取となつた之が氏の實業界に志した最初である、それから同取引所の理事長、關西鐵道會社長となり二十三年帝國議會

▽開設當時から　衆議院議員に當選すること七回に及び其間株式會社東京銀地取引所理事長、東京株式取引所理事長、小田原電氣鐵道株式會社長、東京電車鐵道會社重役、東京市街鐵株式會社重役其他數多の事業に關與し現に東京商業會議所會頭で東京市會議長の要職に在つたのである、氏は政治家肌の實業家として澁澤男と並稱される我國實業界の重鎭であつて人格高適任性聰明にして

▽理財の才に　長じ國家的人物として仰がれて居たのであつたが過般北海道博覽會に臨み歸來健康勝れず去る五日尿毒症の爲め重態に陷り八日午後二時遂に逝去した享年七十一歳内外多事の際此の實業界の巨星が隕ちたのは痛惜に堪へない

○兇彈に斃れた

湯化龍氏の遺骸

林長民氏が携へて　九日朝京城を通過

過般加奈太にて暗殺されたる支那前教育總長湯化龍氏の遺骸受け取りの爲渡日中なりし林長民氏は翟徳輝氏と共に九日午前京城通過北京に直行したり翟徳輝氏は故湯氏に隨行米國に赴き湯氏暗殺の際はその身邊に在りて悲惨なる當時の光景を目撃したる人なるが氏は追憶の涙に咽びつゝ語る

▽宴會の歸途

狙撃された　最初の一彈　致命傷を與へたは

私は湯化龍氏と共に去月十九日桑港に上陸してシャトル、シカゴ、ヒラデルヒヤ、紐育、バンクバー等を廻つて八月の二十八日にビクトリヤ市に着きエムプレスホテルに投宿して同市を視察しましたが九月の一日在留邦人から招待されフイカス町の

■晩餐會に　臨みましたホテルを出たのは午後七時頃でした會は頗る盛況でしたが八時頃は閉會となり私は湯化龍さんと共に徒歩で會場を出ました勿論七八人の連れもありましたが湯さんが遭難された時刻には私は約二十間許り後れて居ました、フイカス町の一寸人通の少くない處でしたが突然何處からともなく轟然たる

■短銃の音　が起りましたので何事だらうと私は一寸立ち止りまして不圖前方を見ると湯さんが倒れて居るものですから再び驚いて驅出しました僅か三四間位近驅け寄つた頃再び耳を潰す様な銃聲が起りました、ご同時に私の頭にも或る黒雲がみなぎつたが既に其の時は遲れてゐました私は取り急ぎ湯氏の側に驅け寄つて見ました處が最初の一彈は

■右胸下部　に命中し二彈は口に當たつて前歯を二枚許り傷付けて居ましたが最初の一彈が致命傷で私が抱き起して見た時は殆ど呼吸は止まつてゐました、斯うして遺骨と共に歸國の途にあるはあるものゝ僅百數十日の今日思へば思ひ出も悲哀が啾々と胸間を往來して幸ひにも無事で居る私は湯さんの靈に對して申譯がない様な感じがしてなりません』

○佛國から來る飛行將校

卓越せる操縱者許り廿九名　十二月中旬迄に來朝の豫定

近く佛國より多數の優秀なる飛行將校を我國に派遣の筈なるが總人員は二十九名にて中十四名は卓越せる操縱將校なりその他は發動機工にて之れ亦相當の操縱者なりと尚ほ飛行機は十一月下旬までに飛行將校は十二月半ばまでに來着し滯在約半歳の豫定なり因に一行着の上は各務原飛行場に赴く由（東京特電）

○御神幸

御道筋決定

來る十七八日の京城神社恒例大祭に於ける御神幸御道筋は過般來大幟代吉にて協議中なりしが愈左記の如く決定昨年に比し御休息所の位置等に多少の異動あるは時間の都合によるものなりと

▼拾月十七日

▲祭典午前八時▲御鳳輦御發幸同十時▲總督官邸前▲日出町▲日出小學校南側より▲大和町▲警務總監部前通交叉點（休息）▲大和町二、三丁目を經て▲新町へ（休息）▲本町通五、四、三、二、一丁目より▲京城府廳前（休息）▲南大門通三、四、五丁目▲御成町▲南大門停車場前正午（休息）▲古市町▲岡崎町▲漢江通一角公園（休息）▲石見堂菓子店の側を漢江通十一番地▲陸軍官舍街に向つて進み右に折れ▲龍山郵便局前に（休息）▲漢江通を南に▲市繁昌より營理局前を▲龍山停車前（休息）▲太陽亭前な漢江通第五番より▲漢江通七番地▲□町▲憲兵派出所前（休息）▲御旅所御到着午後五時

▼拾月十八日

▲祭典午前八時▲御發輦同九時▲龍山橋通り榮町（休息）▲旭橋通▲元町二丁目（休息）▲元町一丁目▲青葉町（休息）▲古市町（休息）▲南大門停車場前（休息）▲蓬萊町▲太平通二丁目▲京城日報社前正午（休息）▲太平通一丁目▲鍾路一丁目（休息）▲鍾路三丁目交叉點（休息）▲鍾路四丁目▲黄金町四丁目交叉點（休息）▲大正館前を櫻井町一丁目▲本町に出で若草町へ（休息）▲黄金町三丁目▲東洋拓殖會社前（休息）▲南大門通二丁目▲明治町一丁目（休息）▲商品陳列所より黄金町に▲永樂町二丁目（休息）▲總督官邸前（休息）▲本社着御午後五時半

○秋期消防演習

來る十二日　訓鍊院にて

來る十二日午前十時より訓鍊院に於て京城府内消防組の秋期檢閲を施行すべく當日は檢閲官以下關係警務部員並に憲兵隊長警察署長も定刻前より檢閲場たる訓鍊院に參集一發の非常號砲を合圖に市内に散在する消防隊組は各其の所在より檢閲場内の假設火災場に驅け付け防火具の操縱其他の消防演習を施行し終つて警務部長の訓示ある由尚當日檢閲の指揮官は長谷部警視にして演習の指揮は小熊警部之を掌り晴雨を論ぜず施行すべしと云ふ。

◎朝鮮婦人の文展出品

技藝學校出の才媛　羅惠錫さんの「光凞門外」

院展、二科の後を受けて上野の秋を飾るべき文展開會日も目捷の間に迫つたが數多ある女流畫家の出品中「光凞門外」と題する朝鮮の女流畫家の勞作である羅惠錫さんは未だ

▽二十三歳　の若い女で昨年東京女子美術學校を卒業し其後は郷里水原で洋畫を專念に勉強して居る。京城の進明女學校在學時代から何時も首席を占めてゐた才媛で兄妹四人共東京に遊學した頗る新しい家族に育つた人である。三、四箇月前に渡鮮した

▽小林萬吾　畫伯と一緒に水原附近や平壤に寫生旅行をした當時同じく渡鮮中であつた石井柏亭氏のスケッチに描かれたりしたことがある。朝鮮婦人として文展に出品したのは恐らくこの羅惠錫さんを以つて嚆矢とするであらう。

◎慶北の初霜

去る三日慶北青松郡に初霜あり昨年より十一日又隙往五箇年間の平均に比し九日早期なりと

○また米が　四十錢以上になつた

京城の小賣相場

京城の小賣白米は九日から又復五厘値上げし四十錢五厘を唱ふるに至つた、値上の理由を聞くに今迄は三十九錢五厘で買込んで居た米を四十錢に小賣して居たが愈その買値が騰貴したので止むなく卸値よりは五厘高に賣ることになつたのだそうである

○大法螺吹いて

無錢遊興し附馬を撒いて仁川に逃走

宮崎縣兒湯郡都農町生れの士族木村安雄（二三）といふは去月七日大郎八重垣町に赴き貸座敷いろは樓に登樓して自分は醫學士なり弟は目下帝國大學に在學中なりと吹聽して如何にも富豪の如く裝ひ實は自分は此廓内の八重樓をさまことしやかに列べたて女よ酒よと贅を盡して五日間も流連し五十八圓三十二錢の遊興をなしたり樓主は一まづ勘定を請求したるに實は漆谷郷便所に貯金あり之れを受け取り來りて支拂ひすべしと附馬を引いて同樓を立出で途中件の附馬を美事に振撒き仁川に逃走したるを同地警察署の手に取押へられ七日弱大郎署に護送さる

◇大懸賞社告◇

天高馬肥、燈火將に親むべきの候、吾人の詩嚢亦空しからず、我社は此の好季に際し、我十萬愛讀者諸君の爲に詩趣の深きを添へんが爲左の懸賞を以て汎く江湖に錦心繡腸を募集す振つて御投稿あらん事を希望す

懸賞金　百五拾圓也　投稿締切十月二十日

投稿者諸君は左の規定及課題に注意せられよ

論文	「宴會改良に就て」（十五字詰二百五十行以内）	一等十五圓	二等七圓二人	三等四圓三人	社内選
漢詩	「秋懷」（七言律詩）「四睡圖」（七言絶句）	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	京都　高野竹園先生選
俳句	「初冬」「しぐれ」	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	日池選
川柳	「咳」「記念」	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	東京　井上劍花坊選
和歌	「冬の朝」「落葉」	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	東京　尾上柴舟先生選
小品文	（隨意）	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	社内選
短篇小説	（隨意）（十五字詰二百五十行以内）	一等十圓	二等五圓二人	三等三圓二人	社内選
情歌	「室咲」「小春」	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	東京　平松天籟選
一口噺	（隨意）	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	社内選
寫眞	「晩秋」	一等三圓	二等二圓二人	三等一圓三人	社内選

以上の作物は一人全部應募は自由なるも漢詩、俳句、和歌、情歌、一口噺は一人各二作以内小品文は一作迄、短篇小説及論文は各々各一作に限り寫眞一人二枚以内とす

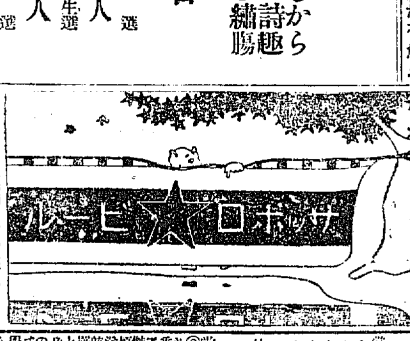
應募原稿には表封に必ず懸賞募集原稿と朱書せられたし

發表は十一月上旬時日は追て發表す入募以外のものも佳作は選外佳作として京城日報紙上に掲載す賞金は發表と同時に送附す

京城日報社

仁川米豆取引

○連絡船上陸客



サッポロビール第二回懸賞圖案第四等入選　意匠應募圖案　京城鍾橋町一八八番地　圖案者　際介氏

○平壤丸坐洲

浦鹽航路　平壤丸は六日午前七時五十分頃元山に入港せんとして長德島を南に距る約八十間の地點に於て坐洲したり坐洲の原因は同地點に於て大木局金剛丸と會し之を避けんとして長德島を南に迂回したる爲めなるが其儘にては離洲せざるを以て止むなく積荷を卸し同日午後一時頃滿潮を俟つて離洲したり乘客は坐洲と同時に同地點より上陸し格別の損害も無かりしと

○丸一呉服店の賣出し

京城本町　丸一呉服店にては來る十日より十二日迄三日間新柄冬物大賣出しをなす由なるが特に本年は東京に於て流行出し物ばかりの上で粋な珍柄ばかり澤山荷到に寄せ切見切反物は例年の通り破格の廉價をなす筈

大掃除

十一日　施行區域左の如し　本町四丁目、大和町二三丁目、櫻井町二三丁目

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉　共著　郵税十五錢　京城本町　振替京城三〇　京城日報代理部

演藝案内

壽座　本町三丁目　電話五七八番　當る十月十日より　日本一節劇元祖浪花政吉一行　▲前狂言　野狐三次通し　▲中狂言　大石江戸探り　▲切狂言　潮田又之丞二幕

有樂館　東京小林商會特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　當る十月四日より特別大興行　人情劇故郷の母　五卷　大活劇啞娘　全八卷　第三灰色の幽靈　全廿一卷の内

壽館　本町一丁目　電話一〇五〇　當る十月九日　落語　義士の討入　柳生重兵衛　正直車屋　五郎正宗孝子傳　京山愛若　中村錦奴　雲井重友　京山市海　京山愛虎

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　當る十月四日より秋季特別大興行　滑稽デブ君の僥倖　絶海奇談『孤島の花』　五卷

黄金館　電話（晝間）二二六（夜間）二二七　天然色活動寫眞　新派悲劇『金色夜叉』　疑問の死

先驅の叫び　全六卷

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　京阪落語若手大一座

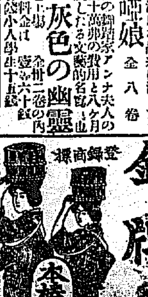
軍隊毛布

株式會社　東京織物仲繼店

百圓　内外實收

他に類のない自宅新事業　日本化工製藥社

金牌　登錄商標



男女頭髪用　椿ポマード　毛を黒く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ　本舖　大阪西横堀　三宅

洋鐵　鋼材料　バルブ工具品類　鑛山用品　一般工業用品

瓦斯管

カナエパッキング會社代理店　合資會社南方商店　京城南大門通一丁目　電話長一六八九　振替一九三四

各種石鹸製造元　生田組石鹸工場　京城元町一丁目（電話龍山二六番）

贊化病院

京城明治町一丁目　電話二四番　内科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り　醫學博士　古城憲治

○滿洲の工業動員
單に萬一の場合に處する準備

愈に政府が工業動員令を發布し軍國的準備の完成を圖つたが其際滿洲は同令圏内を脱して居つたのであるが關東州にも勅令を以て工業動員令が布かれた滿洲と雖も領事裁管轄區域は別であつて即ち關東州及び滿鐵附屬地だけに適用される譯である夫れで其範圍に就て研究すれば(一)兵器、艦艇、航空機、彈藥並びに軍用器具機械及び物品(二)軍用に供し得べき船舶、海陸聯絡の輸送設備鐵道及び附屬設備其他の輸送用物件(三)軍用に供し得べき材料被服及び糧秣(四)軍用に供し得べき衛生材料及び獸醫材料(五)軍用に供し得べき通信用物件並びに如上各種物件の生産又は修理に要する材料器具機械及び動力を以て指定する軍用に供し得べき物件にして戰時に際し前項軍需品の原料製品を適當に動員する爲め工場事業場を政府に於て使用或は收用し又凡軍需品の原料の買使用消費輸入を制限又は禁止し或は其の軍需品を使用收用する外此等の目的を達する爲め職工の統一按排を圖り兵役にある者を徴兵令に依らずして強徴し之を工場事業場に就役せしむる等戰時強制の規定を包括したものである其法の特色としては立法の精神が獨り戰時に於てのみ之を適用せんとするには非ず平時に於ても尚は必要なる工場事業場に對しては奬勵金を附與し戰時の設備を爲さしむるに止らず軍需品の製造を奬勵し補助金を交附するは勿論現在の工場事業場器具機械從業者若しくは材料器具機械の供給者又は生産發生若くば修理の能力數量等を調査する等幾多の周匝なる規定である此法を滿洲に適用する事に依つて生ずる効果は南滿鐵道大連汽船等の軍用に供し得べき船舶鐵道軌道、海陸聯絡運送設備、自動車及び其他の車輛、沙河口工場等軍用物件の生産修理を爲し得る工場の全部又は一部の管理使用收用も出來る又軍用に供し得べき通信用物件材料被服糧秣衛生材料獸醫材料の使用法收用等をも自由に行れる樣に取計らつた譯である併し今回の工業動員令は直ちに之を適用する譯ではなく唯萬一の場合を慮り差當り都合よい關東州及び滿鐵附屬地にまで同令を實施したのであるが或危急に臨んで何時でも適用すべき準備をなしたのであるから今日の場合之が適用を見る事はなからうと某當局者は語る(奉天)

○鴨綠江對岸移住の朝鮮人
平安北道廳調査

越境移住朝鮮人の最も多數居住せるは南滿洲鴨綠江沿岸にして其の最も多きは安東縣寬甸縣に屬せり今安東帝國領事館管轄區域に於ける人員は大正四年末調査に依るに七萬一千二百五十四人に達せり此内安東縣内を除き輯安縣内に移住せる者二萬五千八百餘人にして其の内十分の八は平安北道より移住せるものに屬す

移住の動機は何

移住の主なる動機は多く經濟的關係に起因するものにして其の起源は遠く我紀元二千四百四十五年の頃李朝正宗王九年に至り兩民間の紛爭に依り相互に越境を禁じたることありしが其後六十年を經て我が紀元二千五百五年憲宗王十一年に至り鎖國の禁令漸く弛廢するに及び北鮮地方の人民は土地磽确にして收穫少き地を棄て對岸支那地の地味肥沃なるに移り遂に朝鮮人の部落的移住を爲す者あるに至れり紀元二千五百二十九年李太王六年北鮮地方の大凶歉に際し朝鮮人は先を爭つて越境し移住朝鮮人の激增を來たし當時平安北道江界府使は對岸支那地に二十八面を區劃し西邊界と稱し江界、楚山、渭原、慈城、厚昌の五郡に分管せしめ之が保護を加へたることあり又近因としては明治三十七八年戰役後滿洲に於ける米穀の需用增加と共に安奉鐵道線の開通に依り一層滿洲農業の有利なるを知悉し其越境移住者の數激增するに至れり

移住鮮人の職業

越境移住朝鮮人の多くは農業經營に從事し其の種別としては朝鮮人中富有なる者に在りては支那人より耕地を租借し小作人をして耕作するもの又支那人若くは朝鮮人地主の小作人として耕作せるもの又支那人より耕地を租借し自作せる者の三種ありて孰れも相當の收益を贏得すと雖も移住當時支那人より肥料食糧等の前借と其高利の爲めに始終小作人たるの羈絆を脱するを得ざるの境遇にある者多し

支那人との關係

移住鮮人と支那人との關係は舊慣を脱せず支那は古來中華と稱し朝鮮人を視ると屬國民たるの思想去らず常に弱者を以て遇するの感あり之れ支那人は常に移住朝鮮人に對しては地主又は債權者の地位に在るに依るもの其の主なる原因なるが如し其農業に在つても支那人は常に豐饒なる地を耕すの傾向ありて地主たる支那人は常に收益し能はざる土地より朝鮮人の手に依りて小作料を納むるを以て之を歡迎し其の間親睦なりとす其の言語の如きも朝鮮人は支那語を解し不完全ながら用務を辨ぜり

移住鮮人の宗教

移住朝鮮人間に信ぜらるゝ宗教は其信仰濃厚ならざるも其種別を擧ぐれば耶蘇敎、天道敎最も多く中には侍天敎、青林敎、檀君敎、白々敎、天主敎、濟愚敎、孔子敎等を信ずるあり

朝鮮人教育狀態

朝鮮人は支那人に比し子弟教育の念厚く支那人は數十戸以上の集團部落に於て尙學堂の設けなきも朝鮮人は十數戸點在せる谿谷と雖も一の書堂を設け子弟に文字を學習せしむるもの多し其の教科用書としては千字文、類合、通鑑、啓蒙篇、小學、大學等にして其の教師は老齡者多く朝鮮地に於けるものより一層知識淺薄なるが如し之れ教師として其人を得難き原因に依るものとす移住朝鮮人に對し子弟教育の感想を聞くに『今日の時勢に於て兒童に教育を受けしむることの必要は能く之を知るも此地に書堂すら無く致方なしさればとて故鄉に兒童を出して遊學せしむることも出來難ければ致方なく放任するの外なし』と答ふるもの多し又朝鮮人にして相當生計を營むものは支那學堂に就學し(楡樹林子の附近及び通溝の附近)共和國政府の編纂せる教科書に就き學習せり又楚山對岸涼水泉子及び外岔より管内楚山公立普通學校に就學せるもの一時六名ありたるも現時經濟關係より二名に減ぜり以て教育渇望の深きを知るを得べきものとす、鴨江岸近に於ては(約四里以内)未だ私立學校の設置なきも書堂は各地に設置せられ居れり

一戰塵

ホルワット將軍
或は日本に渡るやも知れず

最近數箇月東鐵の事務は一切を擧げてラチーノフに委ね置き自らは極東政務に沒頭し客車を宿舍として終始しつゝあるホルワット將軍は今や顔色憔悴形容枯槁して又當年の元氣なく最近オムスク西伯利政府と妥協成り其極東太守に任ぜられ極東文武の統率權を與へられたるも西伯利政府其者すら動搖しつゝあれば實力なき太守としての存在は困難なるべく露人間にては將軍が前露時代の勳章を帶び居るを見て將軍の頭腦は最早現代の思潮に棹さすに適せずと稱し居れるが或は失脚せば結局は我邦にでも來るやも知れずと

二十九歳の將軍
猪突主義にて一部より非難

問題のチエツクスロワークの司令官として近來頓に頭角を表し來れるガイダ少將年歯漸く二十九歳の壯年にして陸軍中尉として露國側の俘虜となりし人なるが頗る果斷進取にして少將となる年壯氣鋭にして往々猪突的の行動に出でしとの評あれど曩に東淸鐵道同盟罷業の事あるや協合より飛出し來れるガイダ少將は彼等を全部銃殺すべしとの命令を發せる如き稍や過る嫌ひある爲隨つて亦非難する者も多し

蒙王たらんとす
セミヨノフ將軍の抱く理想

我軍の先驅をなしつゝあるセミヨノフ軍は約三千人程の軍勢にして各人種雜多なり邦人は參謀黑木大尉一人あるのみ目下ザバイカル一帶は彼唯一人の勢力の下にありセ大佐は人物手腕名望共に他の群雄を抜き米のチエックに於けると同様日本とセ軍との關係極めて親密なり彼の抱懷する理想は將來極東大勢一定の上は蒙地に入て蒙古王たらんとするに在る者の如し(長春)

○製鐵所の爲に新都市が
出來た滿洲の鞍山
◆水道も學校も病院も◆
◆今迄七八十戸の寒村◆

軍國多事の際鞍山製鐵所の經營は國家的重大なる使命を有するは今更喋々迄もなき處なるが如何に我鞍山の經營にして安心を與へ當局者の盡力期待が偉大なるかを大要記述する處あるべし(立山にて顧東生)

思設けぬ新發見

滿鐵地質研究所長理學士木戸忠太郎氏が既に十餘年前日露戰役後鞍山站の小驛を通過するに當り巍然たる東西の鞍山が鐵の鑛石を含有する事を認識して居たこいふから其以來研究しつゝ有つた事は疑ひないが今次の時局に際して鐵の輸入禁止は已むを得ずして自作自給の政策に出づる外がないので遂に日支の協約より鞍山を開掘する樣に成つたが此協約によりて滿鐵と支那政府代表者于冲漢氏との間に合辦組織振興公司を起し採掘權二百四十萬坪を得たが此權利中に屬す鐵山が東西鞍山、大孤山、櫻桃園、王家堡子、鐵石山、小嶺子、關門山の八箇所である品質は磁鐵鑛赤鐵鑛この二種であるが此内櫻桃園、大孤山は最も優良なるものである、

一億圓を投じて

十箇年經續事業にして投資一億萬圓十六基の熔鑛爐を建設し一基の生產力一晝夜二百噸にして一箇年少くも百萬噸の銑鐵を製造する規模であるが先づ第一期計畫として二百噸爐二基を大正八年四月迄に竣成せしめ一箇年十五萬噸の銑鐵を製造し製鋼の傍ら軌條、鐵管其他の鐵材を製出する手筈で之等製鐵に關する各種機關の設備中にある先づ熔鑛爐二基の外骸炭爐、骸炭爐、熱風爐、送風機、發電所、變壓所、貯炭場、水道、貯水池の水槽タンク、冷却塔、鑛碎煉瓦製造場其他事務所宿舍等重なるものなるが原石を運搬すべき運鑛鐵道は既に去る九月廿九日全部完成し何日にても火入式の間に合ふ樣になり居れるが如し(つゞく)

○陸軍將校になる迄の順序(上)

陸軍將校となる途は地方幼年學校と陸軍士官學校に入學するの二途である陸軍士官學校は中學校卒業乃至明年中學を卒業する者又は文部大臣に於て專門學校の入學に關し中學校卒業者と同等以上の學力ありと指定したる學校卒業者(各專門學校に通ずるもの)に限るのであるが幼年學校の方は學歴に制限なく小學校を出たものでも亦出ないものでも幼年學校の入學試驗にさへ及第すれば誰でも入學して將校になる事が出來る夫れで順序上地方幼年學校の入學手續から記して見ると左の如くである、序に云つて置くが此の記事を讀んで志願したいこいふ人があつたら其土地の在郷軍人分會に問合はせるのが一番捷徑であらう

★地方幼年學校

◆出願期日 本年十月三十一日迄

◆志願年齡 十三歳より十五歳迄但し右年齡は明治三十七年四月二日より同三十九年四月一日迄の出生者に限る

◆學科試驗 高等小學校一學年第二學期終業の程度で行ひ其科目は地理歷史(日本地理 日本歷史の大要)算術(整數、小數、諸等數、分數、比及步合算)國語(漢字交りの文の讀方)作文(漢文交り文、書翰文)

◆試驗期日 明年の二月八日より

◆檢查場所 朝鮮滿洲に居住する者は願書に本籍地所管及び檢查の場所を指定して朝鮮は京城、平壤、大邱、滿洲は大連で受驗する事が出來る而して身體檢査は試驗の前日に行ふものであつて大抵は凡て期日までに所管の師團から通知がある筈である

諄い樣だが斷はつて置くのは狹隘な紙面であるから詳細の事を揭げる事が出來ないので志願者は在郷軍人分會に就て詳しく聞く必要がある

少尉になるまで

さて志願者が愈々首尾よく試驗に通ると中央幼年學校豫科若くは地方幼年學校に入校し三年の課程を了へて更に中央幼年學校本科に入學し在學一年九箇月間普通學及び軍人の豫備教育を受けた後愈々卒業すると士官候補生となり各隊に配屬されて二年六箇月の後日出度陸軍少尉に任ぜらるゝのである、そこで費用は自費生と特待生、半特待生の三種に分つてゐるが特待生といふのは戰死下士以上の遺子其他特別の事情ある陸海軍將校の遺子乃至國家に特別の功勞あつた高等官の遺子で半特待生といふのは陸海軍將校の子に限られてゐるが普通の者は全部自費生である而して自費生は一月八圓を學校に納め外に月二圓以内の私費を要する

○京畿道檢穀

仁川、平澤水原烏山其他に於ける京畿道管内各檢査所の取扱へる九月中米の大豆の檢查高左の如し(仁川)

◇輸移出玄米 總數三千九百八十五叺内特等合格五十二叺、一等八百七十一叺、二等三百六十八叺、三等二千二百六十三叺にして不合格米は四百九十三叺を算せり夾雜物多量の爲め再調せしめたるもの三十五叺、容量不足によるもの六叺等なるが其の生產地の主なるは水原郡一千六百四十五、安城郡九百四十五、黄海道八百八十九、振威郡四百五十八叺其他にして之が仕向地は大阪二千百三十九叺、釜山一千三百五十一叺其他なり今之を各檢查所別に揭ぐれば左の如し

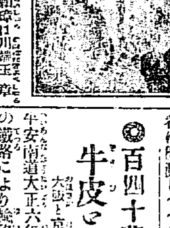
	總數	特	一	二	三	不合
仁川	九〇四	…	…	…	八六九	三五
平澤	一、三六八	…	…	…	六二一	七四七
水原	四〇四	三二	一九九	一五六	一七	…
烏山	一、〇四九	…	三〇三	…	七四四	二
合計	三、九八五	五二	八七一	三六八	二、二六三	四九三

◇仁川搬出玄米 は著しく減少し僅に總數二千四百三十八叺なるが之れ鐵道の特別輸送に影響せるものなるは言を俟たず其の成績に就て見れば三等合格四百七十八叺、不合格一千九百五十五叺之が生產地は振威郡一千九十八叺、安城郡七百九十九、水原郡三百六十五、忠淸北道百七十一叺等なり輸移出中白米も殆んど數量として揭ぐべきものなく僅に百七叺仕向地は大連六十五、青島二十、金郊三十二等なり仁川搬出中白米は總數九百八十叺其生產地は安城郡六百九十五、水原郡百八十九、振威郡二十四叺等なり

◆輸移出大豆 は總數一萬六千二百九十六叺内一等合格品四百五十九叺、二等三千四百八十九叺、三等一萬二千五叺不合格三百四十三叺を算せり此の内夾雜物多量の爲め再調せしめたるもの百九叺包裝せるもの二叺あり本年の新大豆又六千七叺を此の内に包含せり而して之が生產地は忠淸北道の九千六百八十五叺を主として江原道五千七百十一振威郡五百七十一水原郡百三十六安城郡百二十六叺其他なるが之が仕向地の主なるは大阪七千九百四叺東京一千四百二十六叺釜山六千二百八十八叺久留米三百六十六叺下關四百四十四潮留二千五十六叺なり其の成績左の如し

	總數	(一)	(二)	(三)	不合
仁川	八三	…	三五	四八	…
平澤	五〇五	…	…	五〇二	三
水原	一二〇	…	…	一二〇	…
烏山	一〇	…	…	八	二
西水原	一五、五六八	四五九	三、四五四	一一、三二七	三三八
計	一六、二九六	四五九	三、四八九	一二、〇〇五	三四三

○西村草文畫伯の揮毫 入京中なる西村草文畫伯は故久保田米僊門下の逸才にして能く師が妙技の秘奥を得近來谷文晁の筆致を研究し所謂南北合派の風を得山水花卉翎毛一として可ならざるなく又能樂の圖を能くすと又詩文に長ぜり幼時姫島竹外翁に學び中年田中訥言と北爾派を究し後相共に前後東京に出て初め川端玉章に師事し後久保田米僊に師事す師歿後廣く四方に漫遊し到る處彩筆を弄し一種の畫遊錄を作り師の歐米漫遊紹に勸ふが如き趣味津々たり滯在中は知名紳士の懇援により大和町淨土宗開教使に於て需に應じて揮毫し雅會にも出席揮毫すべしと希望者は壽町



○遼陽產の麻

遼陽麻の輸出は近年著しく激增を來し奉天輸出界の重要物資に數へらるゝに至りたるが昨年の高價は深く支那栽培者の頭腦に沁込み殆ど賣惜しみの形勢なるを以て出廻り以來大阪に向けたるもの僅に三萬斤內外に過ぎず相場は依然百斤洋十一圓乃至十一圓五十錢を唱へ居るも邦人側の安見込みと銀の高價が輸出界に影響を及ぼし悉く手控へするを餘儀なくされ目下て幾分の差ありこ雖も天津の如き都合よき集散地と契約地を營み多く同方面に手を伸ばしつゝあるを以て遼陽麻の前途尻上りの好成績を得るに至る事難かるべし將來銀相場が日金に比し打歩を要するが如き場合に到らば或は競つて買付けを行ふべきも今の所先見越するものなく支那側同業者は甚だ杞憂しつゝあり滿洲運送が依然として搬ばざれば漢口方面の麻は相當內地に入込む事あるべしと當地同業者は豫測しつゝあり(奉天)

○百四十萬斤の牛皮と其分布
大阪と京城が一番多かつた

平安南道大正六年中に於ける牛皮の鐵路により輸移出したる數量は百四十一萬一千八十三斤なるが其重なる集散地は平壤、鎭南浦、新安州等にして又是れが仕向地の重なる箇所及び數量は大阪四十六萬四千二百斤、姬路六千七百五十二斤、神戸三千三百七十六斤、安東縣二十萬九千三百十二斤、長春三千三百七十六斤、朝鮮內に於ては平北三萬四千百四斤、京城四十四萬六百七十二斤、永登浦三萬三百八十四斤合計百十九萬二千百七十六斤等にて其他仁川、木浦、元山等の各港に移出したるもの一萬六千八百八十斤なるが右各港の數量は何れも六千斤以下なり(平壤)

◆城壁めぐり◆
檢非違使武男

何が偖て春は野の遊び、秋は山登りに如く樂みはあらじ、分て秋の山登りばかりは心行く限りなれ。腰にサーベルなど下げてこそ自らは心もおのづこ猛く、百萬の敵も物の數こもせず、白刃首に臨むも敢てわびれず、悠々たる英雄の閑日月もあれ。他人よりはまことに融通の利かざる者、怖き者、恐ろしき者よこ恰も奧山の岩屋に棲む鐵の化物なん樣に、時折見誤らるゝこともあれ。いざこのサーベルをさへ外づし赤の丸腰こならむには、そこは同じく人なり、人よ落花の情も流水の心も果ては此の大宇宙、大自然の物の哀れも、いかで、いかで他人におくれて見逃すべきかは。幸ひ總追捕使の君には北鮮のあたりに巡視られて秋色をば愛で、胡馬に鞭しきりなり。殘れる檢非違使の殿々も何も鬼の留守見て秋の小川に洗濯すなどの意にはあらねごただ/\親父の家の待ち遠さに裏山の柿栗などむしりちぎるの類ゐにて今日こそおのがじし住める都の秋の城壁をばグルリこ一廻り、山を抜き世を蓋ふ英氣をも養ひ、且は秋の馬にもあやかりて大いに肥らむものをこ、朝の八時頃光熙門の方より左東大門の方へこ城壁を廻り始む。一行岡本、藤沼、高橋、中島、大石、林、中山、東、白石、藤井其の他大小の檢非違使の殿々十六名(前の夜降雨さへなかりせば二十五名は優にありしものを)旅裝、輕裝、變裝宜しく寫眞班あり、法螺貝もあり、尺八もあり。さすがは都の檢非違使なれ。其の丸腰の姿も秋山の景色ごともに一しほあやに輕妙を極めたれば、山神共今日は餘りに共鳴して笑ひ過ごし、己が顋を外すは兎も角城壁など崩されては南無三寶、命辛々百年目、あな恐ろ奇しきことなくもがなこ、心密に祈れる甲斐ありて終日古城趾の上より高き空、秋の七草、白き漢江、收穫の秋、鄙の人の勝手の竈口なご五分五分に見上げ見下しつゝ、秋の大自然に氣持よく同化して悠々なく城めぐり終る

窓開ける林檎や秋の日高し　一郞
鋼次肯多の外行額や秋の空　武男
秋の日や六百年の城のあさ　新也
衣洗ふ女美くし秋の水　思紀
旅人の洗濯ぐ小川や秋の雲　武男
饂路に荷馱隱く木見ゆ芒哉　忠紀
藥水に巫女の住けり秋の山　香洋
藥水に紅葉うつして客待つ人　陽洲
藥水や秋の日射と石ありく　武男
見上ぐる岩下ぐる峰も眠も花芒　芋兵衛
萩點々皆たそゝろ城の跡　香洋
秋踏なしのむで野襲したり　佳水
礎の〇くづれして蘭かな　波人
柴かりに刈り践されし山桔梗　芋兵衛
おぼつかな秋路踏めば岩崩ろ　波人
茸狩や岩の影より女の聲　新也
水筒の心細さよ秋の山　青松
秋の露古城の空に亂れけり　思紀
鵯吹いて櫻門黒う秋の風　武男
楼門の軒傾けり蔦紅葉　思紀
有明に城崩れして萩露こぼる　武男

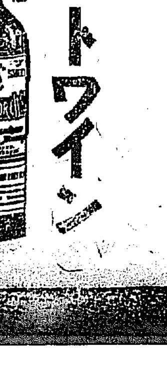
台所 其の日

◆ぎせい豆腐◆ 豆腐の水氣を切り空鍋に入れ火に架け揉みほぐし杓子でかきまわしながら炒り布巾に揚げてなほも水氣を絞り煮出し汁砂糖味淋少しの醬油にてよく/\に炒りつけ葱蓮をなし、重箱若しくは折の底に布巾を敷きその中に豆腐を詰め壓板を置き壓石をなして一時間程置き石を出して適宜に庖刀する

[illegible] を見るや三十錢に上り遂に三十五錢五十錢四十八錢平均値九十四錢と空前の新高値に沸騰したる十三錢 [illegible]

○第二浦郵便局設置 [illegible]

朝夕の一杯は百藥よ優る



七人の醫學博士が口を揃へて賞讃され證明された

美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワイン

類似品あり赤玉に注意

血を増し肉を肥し元氣を盛にする滋養豐富なる赤玉ポートワインは健胃、補血、興奮強壯の効顯著なる點に於て葡萄酒中特に卓絶的であると七人の博士方が賞讃された程であつて今や有名な醫家、病院の藥局に藥餌用として採用されてゐる藥効偉大なる美味滋養の葡萄酒である

滋養力偉大

特に斯の如き人は赤玉ポートワインを御飲用あれ

■貧血の人 ■虚弱の人 ■精力衰退の人 ■病後の人
■食慾不進の人 ■ヒステリーの人 ■產前產後の人 ■神經衰弱の人
キツト利目がある

(松)
新柄半ゑり大賣出し
流行小間物 正札より五歩引
十月十日より十二日迄
京城本町一丁目
松菊屋小間物店

新古ストーブ 煙突 其他附屬品一式
割安品多數持合候間多少に不拘御用命願上候
京城北米倉町百番地
古鐵問屋 有好商店 電話一五四六番

(質)
黄金町長橋町入口
田村質店 電話一九一六番
商品擔保便利取扱

眼科專門
京城若草町(總督府通り若草町新道路中程)電話一一五五番
金井眼科醫院
新築落成●入院隨意●日曜祭日午前中

登錄商標
製靴 新 擴張
防寒靴 學生靴 紳士靴 時價提供
八千代足袋、毛皮、帽子、洋靴、防寒具、馬具、革具、調革類製造卸
陸海軍諸官衙御用達
香川縣善通寺
千葉畜舍
長電話二二〇
振替口座大阪三〇

[illegible]

商況

東京期米特電

九日前場 高値 三十二圓七十錢 高値 三十一圓九十錢 止 三十二圓七十六錢

兵庫期米特電

未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	五日後場
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]
京阪電鐵	五〇、〇〇	[illegible]
東洋紡績	五〇、〇〇	一四〇、一〇
合同紡績	五〇、〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二〇四、五〇
同上新株	四〇、〇〇	一三七、〇〇
東洋汽船	五〇、〇〇	[illegible]
大阪商船	五〇、〇〇	二〇六、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	一〇九、四〇
同上新株	五〇、〇〇	一三三、四〇
堂島米穀	五〇、〇〇	一三、三二〇
東京株式	三五、〇〇	[illegible]
大阪株式	一〇、〇〇	一七〇、六〇

大阪三品特電

九日前場 十月限 四一七、九〇 十一月限 十二月限 一月限 二月限

大阪期米特電

九日後場 三十五圓丁度

下關期米特電

八日後場 寄付 高値 安値 止め

雜報

●三品又反落

明け大反撥を演ぜし大阪三品は昨前日來棉一圓高に拘はらず當限四百十四圓九十錢先三百九十圓六十

五七圓方反

落せしが原因は獨墺の講和提議の影響を受けたるもの也

●綿布愈惡化

綿布 は綿價に比し一時人氣先走りて約一層方の割高採算となりし模先印度輸出筋の利喰ひ轉賣荐りに行はれ其結果は三綿十四圓臺割れより十三圓六十錢と低落し前月の高値當時より

一圓餘の暴

落は三品の氣崩れさ講和風の影響を受けて一段人氣沮喪して遂に

十三圓三十錢の安報を入れ形勢大に惡化せしさ同事に當市中も

足並亂れ始め

粗布三エー番は四圓二十五圓さ比一兩日前に比し

約十圓方呼聲下げりしが此邊進むも手口なく延いて

細布の如きも**減切と不勢**になりしが此處絕好の逃げ場さ見て賣被ぜの手筋ある一面には割安狙ひの買向ひもあり朝來相當

大商內行はれた對に外人氣は尙防少ならず講和の總括を來しつゝあるが獨墺講和の提議にりては聯合國之た拒絕せりとの觀測も漸く一段落の模樣なれば

後電高を氣構へもあり旁人氣の落付きも早からんとの觀測

●正米ヂリ安

米期 は再び講和風に脅ろかされて昨夜後場は急激暴落なた告るが聯合國側の之に對する拒絕の說報は兎も角米穀の物價調節も說報の如く愈々不干涉主義を採る事に決し

收用令及暴利取締令は共に撤廢發表說ありて**更に急轉大反撥**を喚び昨今朝は結局

●後場の値下以上

に相場を煽り正米界にも少なからず刺戟を與へつゝあるが當市場は昨今新穀及新米の出廻り漸く增加して買物稍々溜滯を告げ來り白米注文も擧ぎれ精米筋も夫れ〳〵當座の手持原料を有し多くの向は餘り買焦らず旁々氣配は新米安に牽かれて

ヂリ〳〵安

歩調を續け朝米の標準は日本中玄米三十三圓五十錢花來種三十二圓七十五錢次で三十二圓唱へ

一二三十錢方引弛みたり本來なれば今一段の安値を現はすべき成行きなりさ雖既報の事情は既に

仁川筋の引續き買ありて同手筋の買附高は本月初めより今日迄に

約八九千叺に上りたるが是等の爲め**相場の下げ足**を**喰ひ止**められ地場在米の之が爲め人氣に少なからぬ影響を與へつゝあり併し追々新米の出廻り增加に向ふ折柄人氣は次節に軟化すべく殊に內地にあつては政府の不干渉を鳴物として相場を釣上げつゝあるも調節も絕對に放任せらるゝ譯にあらずして當館的調節方針を採らんとするにあれば今後如何なる影響を事實に現はし來るや測り得べからず內地正米の低落して移出注文絕たる曉は豐作の朝鮮として新米期に於ける暴落は當然の成行きなり

●麥粉持合ひ

麥粉 は內地物依然不引合さあつて更に入品なく滿洲粉は相變らず會社側盟唱への鐵路輸送の如く運ばず漸く大連廻りにて海路非々の輸送あるのみにして人氣は感ぜざれ又相場も引締むる迄に至らず引續き

五圓二十錢持合ひつゝあり

●雜鑛頭重し

內地 雜鑛市況中鉛は米國の禁出說に見當唱へなるが一朝輸出協定も格別の效なく相場は四十錢方に軟化を免れざる可からず…

安質母尼は市場在荷に取手何れも安値待ちにて更に買進まず市場閑散さして相場も兎角下押され風情なり

●冬織物好況

織物は彼の米騷動のため地方筋の仕入れ遲延し漸く九月より取引行はれ昨今に至りて活況を呈したるが既に一順の仕入を終れる模樣にて該前三日中には一期の取引を終了すべし今日迄の各地取引狀態は一般に特戒脇にて思惑に依る買進みも無く而も報年は好景氣なり爲め持越品少く各商に亘りて一樣に買付けたるに依り各問屋共豫想以上の好況を呈し從つて在荷は根が潤澤ならざる折柄さて昨今は著しく品薄を訴ふるに至り相場は九月初に比し

一割乃至二割方の昂騰を見たるも最も是利物の如きは七月中旬頃の最高價に比し四五分安を示せるも金巾類其他の綿布中には新高値を現はせるもの多し次に地方筋の需要は好景氣の反響さして上物就中秩父、節糸織、足利安織物の賣行良好にして甲地類は近來大市金巾の高價なる爲め雖金巾の需要增加し賣行盛んなりし因に當業者の最も苦痛を感じ居れるは米騷動の爲め仕入遲廻せる關係上輸送の迅速を希望せるもの多きも如何せん輸送機關の澁滯にて

着荷の捗々しからざる**點**にありさ

●鑛力相場騰貴

昨秋米國政府の鑛力禁輸さ共に在荷の減少するに連れ相場は同前の高値に發展し隙板物の如き一箱につき百圓近くも迄暴騰したるが其後米國政府の既約品に對する輸出特許を發するに至り相場も亦反動安を呈するに至りたれども最近米政府の輸出特許に關する手心嚴重になりたるものか

輸入頗る不圓滑なる爲**相場又復上向**は避けさなり最近の大阪市況は薄物相場五十圓見當を報するに至れり

●小賣日米値上

白米は內地及元山方面の買約注文あるさ原料の下溜ぶりに底窟頗る強く市中卸値は引續き一等白米の四十圓處を維持せり又

小賣値は日米御値さ同値を以て忍び來りしが前手持の庇際きに隨ひ遂に

五厘方を値上げ九日より一等米四十錢五厘二等米を四十錢となせり

●雜穀は不味

大豆 は移出口の捗々しからざると小物を控ゆる爲め進人少なく氣配小甘き成行きにて本龍山の十四圓八十錢見當を唱へられ綠豆は新物出廻り期に近づきし又上十三圓次十二圓さ氣弱く大麥は共後依然として閑散を告げ昨今は殆ど商內行はれず淸九圓平安物八圓小麥は黃海道物十八圓五十錢忠淸物十七圓五十錢處を持合ひなり

●新籾出廻る

籾 は日 古物品薄にて需人多く見當は本種九圓年錢在來種九圓十錢米品八圓十錢處なるが新物は

河上物の出廻り相當ありて八圓六十錢乃至八圓八十錢處に出來しつゝあり

下關相場

▲朝鮮米は依然頭硬 共後白米一千二百七十叺の輸入ありしが殆んど先約定物にして賣物さしての出廻り僅少なるのみならず現物の如き下地品薄の折柄引續き之れが需人の勘なからぬに加へ產地の如き頗る好況を傳へ居る折谷米主の賣惜み相變らず人氣堅硬を極め現物四十三圓八十錢より四十四圓中に四十四圓三十五錢等にて相當の取組行はれ尙は本月物も四十二圓五六十錢より七十錢處にて三四千叺の商內行はれ跡買人四十二圓八十錢を唱へ居れり

▲小豆は矢張堅かり 共後北海道產七百五十俵の輸入ありしか依然米價の堅かりにある產地も同樣安からぬ旁各手持筋の意嚮強きに依り頗る堅かりの商情を呈し居れり而して北海產の古五等二百俵は九圓三十錢に安東縣產小豆二百叺は二十圓七十錢、滿洲交り二百六十俵は七圓八十錢等に手合せ行はれたり

▲大豆は格別狂はず 共後釜山新物七百五十叺安岳產四百十八叺坪頭產三百五十叺等の輸入ありしが釜山新物の如き大概先約定物にして賣物としての出廻り多からぬさ非々輸入あると云ふ進れ各手持筋の賣り急がざるに依り格別市況弛まず義州產八十叺は十七圓三十錢に手合せ行はれたり

各地商況

●木浦米況(七日) 玄米 閑散 一昨土曜の大阪定期暴落報に依り今日に至り入宿の有樣にて不振活を極め一方共の形勢も餘り

▲朝鮮一等米(塊口) 十三圓八十錢
▲同 四十 四圓
▲同 四十四圓三五十錢
▲同本月物(塊口)
▲同 四十二圓五六十錢
▲龍山大豆上品 十四十二圓七十錢
▲宣川大豆 十九圓八九十錢
▲義州大豆(塊口) 十七圓三十錢
▲元山大豆 十九圓九十錢
▲同 十九圓八十錢

▲肥料の現況 魚肥は前報後朝鮮鰯粕二百五十本白腸肥料二百本明太粕百十本海老粕八十二本前肥料六十七本本鱈骨五十本等の輸入ありしが依然產地高不引合なるのみならず肝腎の米價の如き依然高値を維持し居る折柄手持筋の賣惜み引き續き依り相變らず人氣強く然れども別に氣乘買も又現はれざる爲め格別市況活潑を見るに至らず九州干か白二百十俵は六圓十錢に朝鮮上品三十本は八圓五十錢に明太粕百本許りは五十錢に同太刀粕百本許りは七圓四十五錢等に手合せ行はれたり

▲豆粕は依然產地の人氣安かるも別に買進む相人現れざる爲め共後見るべき商內行はれずして市況不引立なり尙は其他の肥料は市況保合居れり

京城正米市場

古米上物は需人あるも賣物少く新物は新籾の出廻りに連れ賣物相當にあり從つて古米も新米の安氣配に連れ前日來更に

一二三十錢方引弛みたり正後過ぎ玄米 二百八十四叺にて最高三十三圓最低三十二圓十錢出來せり

仁川正米

大阪の朗米反撥と仁川定期の反動高に

形勢一變高人氣を唱へ居れるも賣物薄の折柄商談捗々しからざるもの如し

生魚市場

◇京城日丸市場 釜山あじ鯖鰮元山鰯鯖の外仁川物の廻著あり
△たい五〇△さわら二五△すき一〇△ひらす二四△どじろ二〇△ひらめ一二△ばい一六△あなご一三△さば一三△あぢ一五△もゝび一〇〇△めばる一〇△に一二△かつを一二△はうな六〇△さより一六△たこ一四△このしろ一三△あゆ二二△たちうを一〇△小たい四〇△さけ二三小たい一二

釜山市場 八日

▲玄米保合 昨日は內地期米界は強ろ下落報なりしも地場當用筋の買進みにく賣行き活況を呈して市況も活況旺盛せる爲め相場の如きも四五十錢方の昂騰を示し當地米界にありては今朝市場に至るも依然例の地場用筋の買氣衰へずして非々作ら買進み來りて賣行き可成活況を呈したる事さて一般米主側氣丈に構へて高値唱への商狀なりしも一般買側は如何に需要に迫られたればとて此れ以上の高値は不引合なりと唱て高値は一向買應ぜざるに殊に內地期米界も確して高からざる筈て底意は強硬ながらも相場は伸ぶ能はずして昨日さ保合同事の商狀なりしも前記の如く賣行きは好況なりしより三百個程の手合せありたり

▲新玄米 昨日も小口乍らも賣物ありて四十圓五十錢と保合値にて三乘せる事は昨報の通りなるが又本日も京義線筋山物小口出現して商內出來せるが本品は昨日の品に比較する時は品物頗る粗惡殊に在來種の事さて相場高からず三十七圓二十錢と古米相場さ同樣にて出來せり

◎大邱米況(八日)

▲玄米同事 昨日株況を承け買人も無く見送り居れり ▲籾 入中の見るべき無く九圓四五十錢を保合ひの儘格別取り分漸米騰迫の警戒氣味あるため小口物のみ百餘叺の手合あり何からざる爲め商談も張合ひなく氣は依然衰へざるも何分買物多買入も無く見送り居れり 相場伸び悩れ居る商狀なり

用來值 在來種三等三十六圓二十錢 神力米檢 三十四圓五十錢 穀良都同 同 値

▲新大豆不動 出廻り遲々たる爲め捗々敷商談起らず大口賣物あるも發甘の商値仕込みに不引合を唱へて見送りの儘本日無商內買方は十五圓四十錢どころの唱へなり

仁川期米

▲九日前場(大暴騰)

▲一節 當停止中二十七圓八十錢より五十錢と押し五十五錢先二十七圓と一錢と

上放れに寄付き四錢と跳れ六圓九十九錢と押した

四十錢方大

▲第二節 中七十錢より六十五錢より前と新規の買物多く三十六錢と暴騰し五錢と頭ろし賣物多くして十二錢と昇進し一錢と大暴騰を演じて引

▲第三節 中七十錢より八十錢先三十五錢より七十錢先と返し

更に五十錢と沸騰しるが此邊賣物漸く多く二十九錢と瓦落し三十錢と大激戰裡に引

▲第四節 中八十錢より八十五錢より先三十

大阪前寄三

十五圓丁度の高値に買物然として現はれ遂に五十六錢と暴騰せしが一面利喰の賣物現はれ一錢と押し二錢引

▲第五節 中八十錢引先五十五錢より四錢と辷りたるも買物多く六十七錢と暴騰し四錢と押し八錢と

更に七十錢と沸騰し六十

大混戰裡に強硬の成行を示して散會

▲九日前場
▲中限 ㊀二十七圓八十錢六十錢 五十五錢五十錢五…
▲先限 ㊀二十七圓メ一錢二錢二 …

(以下各節値段略記)

金 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話一五八番 長一五九番 寄場用 電話七二〇番

園 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話二八三番 電報略號「カクシ」又は「

仁川米豆取引所

九日の十二月限

	寄付	止メ	高値	安値
前場一節	二十七圓	二十七圓六十錢		
二節				
三節				
四節				
五節				

白米小賣値

一等白米 四十錢
二等白米 三十九錢五厘

白米標準値

四十圓

六 毛谷村 助 卅六番角力

第三十席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

五郞八は大勢を作れて六助の家を出ました ○『何うだ五郞八 五『先生樣は御承知だ、敵を取つて下さるが、あの知れたら何時でも討つて遣らう、それまでは神佛を祈つて居る樣にと被仰つた ○『それは然うだらう、何處の何者か知れぬもの、如何に此の先生でも見當はつかない、敵は討てない 五『然し皆の衆、佛へと云つて此の金を下された ○『それは有難い、無佛も喜びませう』と云つて歸つて行く、跡に六助は腕拱き 六『怪しい、は微塵彈正、過般の試合の擧動と云ひ今又彼等が變死の話、あの折伴れて居た老婆の衣類、黑の制紐紋所は太輪の中に井桁、殊によつたら彈正めは彼の五郞八の母親を金で賺して親ど掠へ、此の策略を構へ後一刀の下に討果せしか、然し衣類の紋所こいふは世間に幾らもあるもの、それとも彼が眞實の母に相違ないなら折角盡した親切も水の泡、何しろ彼が住み込んだ屋敷の樣子を知りたいが』と獨り思案の其處へ ○『へエ今日は、大きに御無沙汰を仕まつりました』と入つて來たのは天野小傳、六『イヤ是は〳〵能うこそお出、何うか此方へ』小『エー早速先生伺ひたい』六『ハア何を』小『エ、外ではございません、此間の試合彼の彈正の勝つたる手際、我々の愚眼では神傳の貴下よりその伎は數等上かご心得しに、此頃我々が稽古を受けて見る時は、某よりそれ程違ふ伎さは思はれません、然るを何うして先生が脆くも敗れを取りしかと只々不思議でなりません先生の思召は如何なものでございませうか』膝を進めて問ひかける流石は是まで小倉家の御指南番の價値のあるもの、六助は笑ひながら 六『ヤア天野氏世に云ふ勝負は時の運、殊更きはごく一本試合、然し却々某如きの及ぶ處ではございません、お手前始め一家中彼の微塵流を學びなされ、珍らしい流儀でございます 小『然れども某には左程とは思はれませんが 六『まア何んにもせよ彼の人は第一心掛が宜しい 小『こは又何んと 六『されば親孝行の御人だ 小『へエー彈正に親がありますか 六『されば、六十三四の母がある、屋敷に居りませう、嘸や其の老婆も滿足して居りませう 小『イ、エ母にも父にも老人なぞは見當ませんん、あの彈正只一人、五百石で獨身は萬事に不都合、振合の女子もあれば添はしてくれろと久永に賴んださうでございます 六『ハア それでは獨身かね 小『ハイ左樣でございます』聞いて六助首俯向き眉をしかめて考へる樣子を見て取りました小傳 小『先生お包みなく如何にも小傳は不審千萬、伺ひ度事實をお明かし下さりませぬか、うございます』と膝を進め容儀を正す、六助は頭を擡げ 六『常人ならぬ天野氏、夢々はお心附き然らばお話し申さん』と是々云々と五郞八の母親が横死の事を話しました、天野小傳は是を聞いて驚き 小『萬事は拙者にお任せ下さい、彼が身の上を詳しく探つた上御知らせ致しませう』と約して天野は城內へ立歸りました、お話變つて吉岡一味齋の妻お八重、娘お園お菊の三人は中國より豐前國へ入つて參りましたが娘二人は母に向ひ 園『是より何れをお尋ねに相成まするか 八『助太刀を賴りしも思ふ仔細のある事、豫て其方等も知る如く、豐前小倉の毛谷村には彼の六助が居るこの故、一先づ彼處に至り彼に相談いたさん、敵內匠も故郷なれば殊によつたら即時に手係を得るこさあらん』二人の娘は膝を打ち 園『成る程母樣の仰せの通り、永年父上に目をかけられた彼の六助、小倉に居るは最も屈竟、然らば片時も早く彼處へ行かん』こ道を急ぐ毛谷村なる六助の方を訪ねました

◎安東縣近事

▲國分長官來安 朝鮮總督府司法部長官國分三亥氏は黑田囑を隨へ七日午後八時四十分安東著三道の上坂田總務局長の來安を待ち九日滿洲視察の途に上るべし

▲高橋支任歸社 南滿製材公司業務擔當者高橋英記氏は社用を帶び奉天へ出張中の處六日午前著列車にて歸任したり

▲米國公使通過 米公使ラインシュ氏の一行は七日午後八時四十分發列車にて安東通過北方へ向へり

▲梅澤巡査消息 曩に馬賊の集團に拉去せられたる安東警務署通化分遣所勤務梅澤巡査は無事敵手を遁れ出でたる事は既報の如くなるが六日通化に來りたる旨其の筋へ電報ありたりと

▲東亞木材總會 安東縣に於て資本金三十萬圓を以て新に創立せらるべき東亞木材株式會社の創立總會は本月二十日頃開催せらるべき豫定なりと

▲水川局長歸任 旅順に於て郵便局長會議に列席の爲め出張したる水川安東郵便局長は八日歸任したり

▲南地藝妓芝居 南地遊廓の主催にかゝる藝妓芝居は軍隊輸送の爲め無期延期となり居りしが近頃陽氣も大分宜くなりたればこゝ來る十五日頃南地座に於て花々しく開演すべく目下準備中なりと

▲展覽會盛況 安東小學校に於て目下開催中なる教育品展覽會は開設當時一千五百名二日目の七日一千五百名內外の盛況を呈したるを以て豫定の二日を一日延期し八日迄一般の觀覽に供したり

暦

十月十日 九星 九月七日 辛卯 乾坎先負 六白 午命 六白 …

淋病新藥ツヨール

下山藥學博士、慶松藥學博士證明、朝比奈藥學博士、石川醫學博士檢定笹川醫學士、加藤、山田兩獨醫學士等

實驗の結果=殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず=理想內服治淋劑と確定せる權威ある優秀新藥

實驗說明書贈呈

◎膀胱カタル、尿道炎、一般淋病に偉効を奏す 副睾丸炎、前立腺炎、膀胱炎等

百粒入 壹圓八拾錢
五十粒入 九拾五錢
三十粒入 六拾錢

東京日本橋區川瀨石町 振替東京三一四一七 電話本局三九二九番

製造元 ツヨール商會

銘仙新柄陳列會 十月五日より十日間(階上にて)

見切品大賣出し 十月十日より五日間

◎自慢の珍柄多數に取揃ひ申候

◎格安の見切品豐富に取揃ひ申候

何卒賑々しく御來觀御用命の程奉希上候

京城本町 ちゝぶや

宮內省御用品の真價は既に社會に定評あり隨て名稱を僞したる類似詐僞品多し本品の軸部には SWAN の英字刻印押捺せり

スワン萬年ペン

到所の文具店に在り 競爭販賣中買入の讀みな時最寄販賣店に御用命目錄無代進呈 大阪東區平野町一丁目 スワン大阪出張所

清爽の氣

素直に床しいそのうつり香
素袷の着具合よき膚心地
月よき晩のそゞろあるき

ウヅマキ石鹸

愛用者の幸福は
今更ながら身に泌々と……

東京横山町 天野礒五郎

京城日報 第五版

一圓九十九錢の生値を安値とし[illegible]飛して三圓臺に邁進し此迄漸く伸[illegible]自然なる壓迫相場を離脱し四圓六[illegible]一圓五十九錢まで騰[illegible]錢と奔騰したるが久しく賣場所を放して昂騰したる[illegible]狙ひ居りたる從來の賣方たる玄人を窒[illegible]防が檄熱したりと做し豹變して急[illegible]盛り[illegible]に解[illegible]將來安は如何[illegible]得るとしても[illegible]反動安の反動として目先或は一反撥なきを保せず(東京)[illegible]は新設川[illegible]に因るもの

◎巨文島の漁況

本年三月以來日本水産に屬するもの四十五艘の[illegible]漁獲高は六萬六千三百餘圓にして平均一艘八百七十二圓餘漁獲日[illegible]間とし一日平均六百六十三圓餘一[illegible]少なりと

京城日報

獨墺講和提議

●●●●之に應ずるの時機尚早し●●●●

勃牙利が事實上の降伏は、殆ど中歐同盟を崩壞したるに加へ、西部戰線に於ける聯合軍の活躍、今や正に旺盛を極め、さしもに堅固に構成せられたるフィンデンブルグ線も遂々に破綻を生じ、獨軍は結局最後の防禦線たるライン河に退かざるを得ざるの形勢と爲り、爲に國内に於いて大狼狽を來しつゝあることは、時々洩れ來る報道に由りて知了するを得。是より先き墺國は聯合各邦並に中立諸國に向つて平和促進の先容提議を爲したるが、今回は更に米國大統領に向つて、其の敎書に列記せる十四箇條の條件、及び本年九月二十七日同大統領が說明の趣旨に基き、至急講和せんことを希望したることは、蠶に報道せる所の如くなるが、更に其筋に達せるの報に據れば、獨も亦瑞西政府の手を經て、墺國同樣の提議を米國大統領に送り、猶本月六日を以て獨墺土三國の[illegible]のため、一般的休戰を申込みたりといへり。此の休戰の申込は、例の獨逸一流の詐謀權略を以て、一時の危急を緩和せんとするものにあらずして、衷心より講和を希望するに出でたるものなるを信ずるも、決して馬鹿正直にあらざるべし。何となれば獨逸及び墺匈の二國は、曾に軍事上に於て恢復すべからざる不利の狀態に陷りたるのみならず、其の各自の國內に於いて國論の沸騰抑止すべからざるものあり、現に獨逸內閣の交迭の如きも、汎獨主義の凋衰して、平和主義の擡頭し來れるを證するものにして、此上強ひて戰爭を繼續することは、內部より破裂を起すの危機に迫れるを、十分看得すべきの理由あるを以てなり。

右敵國の講和提議に對して、最も注目すべきは米國大統領ウヰルソン氏の態度なるが、是より先き去月十四日墺國よりの提議に對する各國の態度を見るに、いづれも初めより之れを耳に懸けず、米國は其の提議を落手するに先だち、輿論は齊しく之れを蹴飛ばしたり。佛國は正式の答を與ふるなく、首相クレマンソー氏の演說を以て之れに酬い、英國は最も人わるく之れを默殺したりき。最も當時墺國の提議なるものは、講和の本體に觸れずして、單に之が先容を爲すに止りたるものなるが故に、各國も格別重きを置かざりしは理の當然なるも、今回は略具體的に、米國大統領の宣明を基礎條件と爲さんとの申込なるが故に、さうスゲなく鐵砲を食はすことも出來ざるべく、結局聯合各國に一應の考慮を費さしむるの價値ありと雖も、墺土は暫く置き、獨逸が此の際急遽和を講ぜんとするは、いふまでもなく決定的戰敗に陷らざるの前に當り、成るべく有利の條件を以て平和に入らんとするものにして、獨逸のために有利なれば其れだけ聯合國の不利たらざるべからず。其筋著電に依れば、獨逸新宰相マキシミリアン公は、議會に於て講和提議を爲したることを披露し、且つ白耳義問題に關しては、全然之を放棄し、其の獨立と領土保全を主眼とすべしと述べ、又既に締結せる條約に關しては一般平和條約の障碍たらしむることなからしむべしと言明せりといへり。成程白耳義問題は茲にて解決し得べしとするも、露國其他に對する條約を此まゝにすることは、聯合國の決して承引すべきことに非らず、米國大統領の如きも、露國救濟を絕叫しあることなれば、例のブレスト條約の如きことを認むるは斷じて之なかるべし。されば聯合國に於て最後の斷案を下すには、時機の尚早なると勿論にして、恐らくはフオツシュ將軍の戰略が完全に實行せらるゝ迄、休戰を承諾する事なきを信ず。何となれば今日敵國の提議に對し攻擊の手を緩むる如きあらば、所謂九仞の功を一簣に闕くものなれば也。最近巴爾幹の形勢は甚だ分明ならずと雖も、塞爾維亞軍が故國二三の要地を恢復し、又サロニカの聯合軍が君府攻擊の準備に着手したりといふの報をして果して信ならしめば、勃牙利降服は全く同方面の形勢を一變したるやいふまでもなし。今後西部戰線と相呼應し、着々進攻の步に出でなば、墺匈國內に殘存するスラヴ族の內應を得る、殆ど豫定の計畫にして、此の方面よりも獨墺を窮地に陷るゝことを得べし。いづれにしても眞面目に講和を議するは、猶半年の後に在りと見ば左なる間違ひなかるべきなり。

朝鮮同胞に告ぐ(14)

日本旨義特に神道に就き

結論

吾人は以上を以て、日本國民性の根柢にして日本道德の淵源たる神道に就き略論述し了りたるが、更に進みて近世武士道に論及するの必要を認めざるにあらざるも、言餘に多端に亘り、日刊新聞紙に適せざるものあるを以て、暫く筆を此に止め、更に題を改めて讀者に相見ゆるあらんとす。顧みるに帝國三千年の歷史は、要するに神道即ち吾人の所謂日本旨義の顯晦隆替の痕迹にして、時の治亂泰否皆是に由らざるはなかりき。明治維新の際に當り、久しく雲霧に鎖されたる大道は、閃々として其光りを現はし、遂に王政の復古を促したり。明治大皇九五の位を踐みたまふに及び、天地神明に誓ひて五事を宣したまへるを始めとし、歷次發布の詔勅、敎育勅語に戊申詔書等を煥發し、國民を指導したまひしが、其のいづれを拜讀するも、謹著する所は、神道の大義に根源せざるはなし。世の大詔を解するもの、或は佛敎的見地を以てし、或は儒學的見地を以てし、或は排神的見地を以てするもの無きにあらず、勿論是等諸般の解釋が、理義を明かにするに於て、各々神道に歸せざれば、眞旨を領得し難きこと、詔勅の文言自から之を證し、固より吾人の贅言を須たざる所なり。大日本史神祇志に論じていふ『天祭祀は政敎の本づく所、神を敬し祖を欽び、孝敬の義、天下に達す、凡百の制度も亦是に由りて立つ。天皇は天祖の遺體を以て、世々天功を亮かにす、民の君を視ること父母の如く、億兆の君の民を視ること赤子の如く、億兆心を一にして萬世渝らず、各其力を獻じて、以て忠誠を致さざるなし』と。是れ海外諸邦の絕えて無き所』といふべく、克く國體を明かにせるの言といふべく、以て詔勅の傍解と爲すべきなり。

思ふに朝鮮には古昔佛敎の隆興したりし時代ありと雖も、中世以後は專ら儒學を以て衆庶を指導し、彝倫の道、一に支那に典式し、以て今日に至りたるが、併合實行の後、既に八年を踰へ、本土との關係日々に密邇し來れるを以て、此際更に日鮮一家の實を擧げんとせば、舊時代の典型、舊時代の思想に膠着すべからず。一躍日本旨義の圈內に入るを得ずとも、少くとも日本の思想、日本の道德を了解し、大義の指示する方向を取り、其の步調を整へざるべからず。而して神道は其祖先を崇祀するの點に於いて、孝敬を重んずるの點に於いて、儒學と一致するもの殊に多く、唯一國一家たるの觀念に一步を進むるときは、他は求めずして正軌に合すべきが故に、深く思ひをこゝに致さんことを望みて止ます。

吾人は朝鮮に於いて發達したる文明あるを認めざるにあらず。又其の美風良俗の、助長すべきものあるを認めざるにあらず。例へば父母に孝に、長老を敬するが如き、いづれの邦國に於いても美德の最たるものなるを以て、妄に之を變更するを許さゞるなり。憾む所は其の歷史に數度の革命あり、眞の忠君愛國の念を涵ふに於いて缺くる所あることゝ是なり。今日日鮮一家たりと雖も、此の根本觀念に不一致を見ることは、知らず識らず或は歐西各邦に於ける征服者と被征服者との關係に推移するの時機あらんことを懼る。是れ朝鮮の不幸にして、亦帝國の不幸たらずばあらず。吾人の杞憂は實に此に存す、乃ち十數回の長きに亘り、老婆心を布く所以なり、覽者幸ひに之を諒せよ。(終)

國本培養論(六)

中井錦城

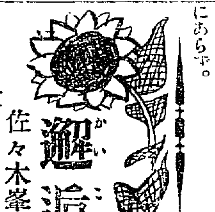
第五農村の振興を圖らんとするには、農民に財產の安定と轉折の娛樂を與へざるべからず。財の安定とは後世子孫の爲に其の所有する耕地を失はず、即ち後世子孫が確實に其の耕地を所有すること是なり。今日の如き米價騰貴の際には、農民たるもの其の土地を愛して、之を手放すを肯んぜざるも、一朝米價の下落するあらば、朝鮮の農民は其の土地を賣却して衣服を贖ふことなき、恰も書生が衣服を屑屋に賣飛ばすが如けん、其の結果土著の地主を減少し、幾多浮浪的の小作人を現出するに至るべし、之を思へば實に寒心に堪へず。而して地主をして土地を失ふなく、永く其の地位を安全ならしむるには米國及び獨逸に行はるゝ、地主世襲財產法を實施し、土地の賣買、讓り渡し、分割は無論の事、擔保と爲すことをも許さざるに若くはなしと信ず。此法は米國に於ては本人の死亡して、寡婦の終年に至るまで、効力を有するに止まれど、獨逸に於ては、期間の制限なし、然れども米國と云ひ、獨逸と云ひ世襲財產の設定は土地所有者の任意とし、敢て政府の强制に出づることなしとせり、朝鮮に於ても亦此の任意的申請の法に依つて、世襲財產法を實施すべし、然れども朝鮮の如き對人信用の未だ發達せざる所に在りては、土地抵當は金融に最も必要なる物件なれば、今世襲財產法を實施して、農民に金融の自由を制限するに於ては彼等は家財牛馬或は收穫を擔保に供する外、別に財產なきを以て、遂に高利貸の毒牙に罹らざるものなきに至らん、故に朝鮮の農民間に信用機關の普及を圖り、金融組合とか信用組合とか、報德講の如きものを改良し、若くは之を新設し、二者相俟ちて、始めて農民位地の鞏固を期すべし。

次に農民の慰藉として、娛樂の方法を講ずるを要す、夫れ農民は[illegible]たる農村に在りて、自然を友とするに過ぎざるを以て、都人士の如く娛樂に遭遇する極めて稀也、然れども彼等も亦人の子也、年中役々勞々として辛苦し、此の歡樂を享受せずして終るを得べきか、若し歡樂の希望なきに於ては、自然平生の業務も怠り勝となるに至るべきなり、內地の移民にて朝鮮の田舍に在るものは、內地に於ける娛樂に遠ざかり、何を日常に[illegible]に親むべき、彼等は決して職業のみを以て娛樂となす能はざるべし、殊に其の婦人に至りては、鈍感無神經の者にあらざる以上、ヒステリーに罹らざるもの幾何ぞ、是が爲如何程良人の農事を妨害するか知るべからず、されば、在朝鮮の內鮮農民には個人的娛樂は勿論の事、家族的娛樂、隣保的娛樂より郷黨的娛樂を與ふると、是れ爲政家地方官の任務にして、爲政の妙諦なるもの又此に存すと信ず、若し此の一事に觀澄せざるに於ては、農民は決して農事に精勵するものにあらず。

本紙定價 [illegible] 廣告料金 [illegible] 發行兼編輯人 印刷人 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話 [illegible] 振替 [illegible]

邂逅

佐々木峯雪



十六 袖乞ひ(二)

『ほゝゝゝ、お前さんにお釣錢呉れと云や爲ませんわ。みんな進けますの』と奧樣らしい女は笑ひながら云つた。

『小僧さん、これ妾も進けますよ』とお里もそれに二錢銅貨を取り出て與へた。

『はい、ごうも有難うございます、有難うございます』庄吉は幾度も幾度も押し戴いた。

『奧樣、さ行きませう』『今日は人間一人助けてやりましたんで、氣がもう爽快爲ましたわ』お里は斯う云つて步み出した。

『ほゝゝゝ、二錢で人間一人助けたなんて、お前も隨分大きな事を云ふわねえ、ほゝゝゝ』

『けど奧樣、長者の萬燈貧女の一燈と云ひますからねえ』

『ほゝゝゝ、隨分學者めいて來たわね』と奧樣風の女は笑ひながら『それぢや行きませう』と襟をさんと突いて步みかけた。

『奧樣有難う……奧樣有難う……』庄吉は大地にべつたり坐つて、女の後姿を伏拜んだ。

『お里や今の子はあれ程も能く宅の庄造に似たもんだねえ』と奧樣はやがてお里に話かけた、

『眞成に奧樣、妾はじめ『お惠み下さい』と走り寄つた時には、まあ氣味の惡いと思つて外れたもの、能く見ると、見りや見る程坊樣に其つ僞りなんですもの、妾不憫さうと思つて、大はずみで二錢遣りましたの』お里は媚びるやうな顏で斯う云ひながら步みを續けた。

『あの目元迄は庄造を取つて付けたやうだつたわね』

『はい、そりやもう能く似てましたわ』

『世間には似た者が三人あると云ふが、眞成にあれだけ能く似た者があればあるものだねえ』

『妾、もし坊樣があんなだつたらと思つて二錢も張り込みましたの』

『眞成に、世間には哀れな子も居るんだわねえ、宅の庄造なぞは一寸出るにもお前や衞が附けてやるんだのに、今の子なぞは甚い苦勞を爲るわねえ』斯う云つて後を振り返ると庄吉は未だ手を合して拜んで居た、

『お里、あれを御覽、まだあんなに爲て居るぢや無いかね』

『まア眞成に……』とお里は感じ入る、

後姿の見へ無い迄に見送つた庄吉は、手の切れるやうな二十錢紙幣と二錢銅貨を幾度も戴いて懷深く收めて、

『世の中には鬼ばつかりは住まないと見ゆる、叔父さんは鬼よりも甚い、蛇よりも甚い、けれども今の奧樣は神樣見たいなかただ、僕が物貰つて二十錢儲けやうと思つたら、何も降ける程雨はねばならない、足も折れる程町を步かねばならない、そして咽喉も破れる程に呼ばねばならない、それに奧樣は、眞成に二十錢も下すつた、眞成に今の奧樣は神樣なんだ、佛樣なんだ、世の中にあんなお方は澤山はあるまい、眞個神樣なんだ、それに宅の叔父さんは何故あんなに甚いんだらう、僕だつて充分に御飯喰はして見れたら、燒芋なんど買つて食や爲無い、せめて一日に朝と晩に二遍で好い、僕眞成の御飯が食ひ度い、あんなお汁粉みたいなお粥を、それも腹一杯食られるのなら好いけれど、小さいお茶碗に只つた一杯と半分程しきやくれ無いで、叔父さんは自分ばつかり四杯も五杯も食るんだし、獨うして朝からお酒を絕やした間が無いんだ、只だお酒飮むばかりで無くつて、酒の肴と云つては鯨の煮たのを買つたり、鯖の切目を食つたり、僕にや臭だつて嗅がさないんだ、そして『子供には魚は毒だ、長命するには子供の時魚を食つちや可けない』なんて、僕だつて魚食たいや……』庄吉は今の情に厚い女に較べて無情な惣兵衞の仕打を怨めしう思つた。

株券紛失ニ付公告

株式會社共益社株券
甲種第六〇〇號 五拾圓券貳拾五圓拂込壹枚
甲種第六〇〇壹號 五拾圓券貳拾五圓拂込壹枚

右當株主延安面鳳南里七九番地金昌培所持(株主ノ處自宅ニ於テ紛失シタル旨同人ヨリ屆出有之候ニ付本日ヨリ向フ貳週間內ニ利害ノ關係者ハ申出有之度若シ右期間內ニ申出無之候トキハ紛失株券ハ無効トシ新タニ交附可致定款第拾四條ニ依リ右公告候也

大正七年十月十日
京城府南大門通貳丁目
株式會社 共益社

公債株式現物賣買信託業
新田耕市商店
京城府櫻井町一丁目三十六番地
電話(長)五七〇番 一八八一番 電略(ニ)又は(ニタ)

監督及有給社員招聘
日鮮人男女ヲ問ハズ月收五拾圓以上確實希望者は至急履歷書携帶來談又は郵送(返信料付)
京城府櫻井町一丁目二十八番地
日本勸業信託株式會社出張所

時代の審判變更 十月號
▽口繪砲口の光……エフ・テイ
◇官僚內閣の出產(政治評論)……山川
◇經濟政策の罪惡(經濟評論)……城外博士
◇人類生活の裏面(社會評論)……山口孤劍
◇無貞操の文藝界(文藝評論)……生方敏郎
◇哲人政治……山川均
▽官僚と政黨と後繼內閣の責任……大場博士
▽通貨政策論の誤謬と物價調節……清水博士
◇世界に對する帝國の地位……後藤男爵
▽食糧問題と經濟組織の缺陷……神戸博士
◇政府の手かモップの手か……茅原華山
▽國民的自殺の前兆論……山川菊榮
(創作)◇惑ひ(作者數年の苦心に作れる七十枚の作)……伊藤野枝
◇金の茶釜(獨特の皮肉と警句より成る喜劇)……生方敏郎
◇歷代內閣の斷末魔
▽大明の米騷動(德川政談)……山口孤劍
▽富士見三週遊記(新秋紀行)……猪狩秋堂 大町桂月
◇銃殺の廢帝と暗レ……林要
▽性慾より見たる美術……青柳有美
◇實話「變裝の女」……田中貢太郎
◇院展と二科(植村、三井、織田、上田、北野、矢野、山口諸大家評)
內容充實の全ポイント組
定價三十錢 郵税二錢
市外目白下落合五七五
新日本社

新日本

臨時休業廣告
本月十一日は當地仁川神社御祭典に付敬意を表する爲め當日臨時休業仕候
朝鮮銀行仁川支店
百三十銀行仁川支店
十八銀行仁川支店
朝鮮商業銀行仁川支店

少女の友増刊
草紅葉
讀者訪問 空想旅行記 水裏、青花の兩記者が滿洲より樺太に至る迄洩なく讀者を訪れる奇拔な旅行記
(小說)▼尼になる迄…小劍 ▼大海の書…星湖 ▼月夜…與謝野晶子
(漫畫)▼落ちの母子…吉雄 ▼淚の泉…浩二 ▼空想路…浩一
▲新附錄 張交ぜ屛風『月の卷』
一冊 十五錢 郵税一錢 半年分七冊 一圓 東京 實業之日本社

最新刊
△平假名かるた
△こらんぷ 船來上等
△ぴんぽん道具
內外織物組織製造學
近世殖民史 矢野
朝鮮の冬と防寒法
地方行政區域名冊一覽
神珍朝鮮行政警察法規集
神珍朝鮮司法警察法規集
譚 大鏡 桂井
永遠の戰 潮田
夕日の丘 野村
世界風俗奇談 加茂
京城本町 大阪屋號 電話六四番 二〇八六番 振替京城二五七二番

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉 共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替京城二〇〇 京日代理部

本町 熊平支店 電話六一四番 二二一五番

女子事務員募集
筆の達者な方で市內に住み通勤する事の出來る女子數名入用希望者は自筆履歷書携帶御來談下さい

僅ニヶ月で卒業 技術者 スグ就職 高給
無資本開業
東京淺草 日本通信工科學校

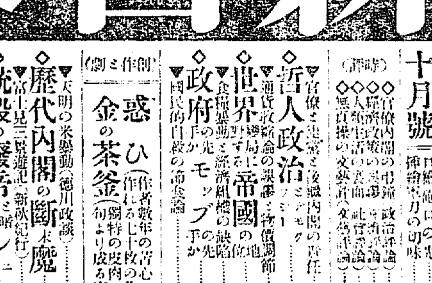
法人登記公告
龍山金融組合ノ出資一口ノ金額ヲ金拾圓トス
大正七年拾月七日登記
京城地方法院 金良場出張所

◯商業登記
一、支配人解任 大正七年拾月壹日 株式會社朝鮮殖產銀行沙里院支店支配人本山文勇ノ資格消滅ス
一、株式會社朝鮮殖產銀行(更正) 大正七年拾月貳日申請錯誤ニ因リ安州支店所在地ヲ平安南道安州郡安州面七星里貳拾九番地ト更正ス
右 大正七年拾月五日登記
海州地方法院 沙里院出張所

模造品續出御注意
オキシパサー
本器は科學界の泰斗マイクルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用に依る治療器にして使用後直に
販賣の疾病の根元を絕滅せしむべき偉力を有し
效力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得
定價金參拾九圓
特約店 京城本町二ノ七一 酒本高明商店
東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會

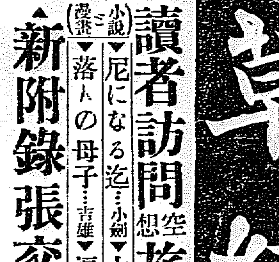
堀井謄寫版
堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
京城南大門通二丁目 堀井謄寫堂京城出張所 電話長四〇二番 振替京城一〇五八番

職業
成功は撰擇に有他に類なき高尙な趣味に富む手工業の一般本業の卷紙製作販賣
案內書を見られよ決して一時の利欲に迷ふ勿れ
原料代與見本四錢 代理店大募集
大阪天滿橋筋一丁目 日本鉛筆出張所



小鳥捕用 カスミ網
(極上綱糸製◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり)
高さ六尺一棚 高さ三間半一棚 橫市五間 四棚
京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三二四番 振替京城四三六番

公債々券所持者へ
我社は公債債券の信託を受け堅實なる利殖法に依り毎月多額の利益を割當てつゝあり
我社が如何に公債債券所持者に歡迎されつゝあるかは隆盛なる我社運の現況に見て知られよ
僅少の利札に甘じ唯徒に證券を死藏するの愚や致富策の最も平凡事たり
公債債券所持者は須く我社を利用し所持證券の利殖を計られよ我社は斯業の元祖たり
合資會社 勸業債券信託社
大阪市北區堂島濱通り一丁目 電話北一五九〇番 電略(カギ)又ハ(カ)



更に六十錢と暁返し四十八錢引[illegible]先限は二十七圓九十錢と二十二錢高に寄付二十八日と上伸し一日七圓臺に迫りたるが再び八圓臺に仲しを見るゝ三十臺に上り遂に三十四錢と空前の新高値に沸騰したる[illegible]十錢四十錢平均値五十五錢[illegible]十錢五十錢四十五錢五十五錢六十錢平均値段五十五錢四錢六十五錢五十五錢五十錢四十八錢平均値五十三錢

[illegible]五錢三錢九錢一錢二錢二錢三十錢一錢二錢二十九錢五錢四錢三十錢三錢四錢二十錢一錢二十錢一錢二十錢二錢三錢八錢二錢一錢七錢八錢二十錢一錢二錢三錢

[illegible]十九錢三十錢三十錢二錢二錢四錢三十錢二錢二錢二錢一錢三十錢二十七錢五錢六錢三錢一錢三錢五錢六錢七錢五錢四錢三錢四錢三錢一錢二錢二十錢十八錢

平均値段 [illegible] 安値 十八圓三十四錢 十八圓四錢 十八圓十六錢 十八圓十三錢 十八圓十九錢

◇獨平和欲求努力

宰相マックス公の聲明

ヘーグ發莫所茗電＝獨逸宰相マックス公は議會の多數黨を後援として新政府は平和を得る爲め其の障碍を除く事に努力す可しと非公式的に聲明せり（東京特電）

◇即時休戰を望む

獨宰相の帝國議會に於ける演說

倫敦發莫所茗電＝獨逸宰相マックス公は帝國議會に於ける演說中（一）即時休戰（二）何れかの中立國に講和全權委員を派する事（三）右委員は仲裁々判、軍備撤廢の問題と共に國際連盟の提案を討議する事を提議せり（東京特電）

◇佛國輿論強硬

無條件屈伏迄は兵を戢むる勿れ

講和提議に就き佛國の輿論は具體的問題に觸るゝに先だち單にウ井ルソン大統領の基礎條件に就き論議するに止め又獨逸新宰相マックス公をして帝國議會に於て更に一歩を進めたる講和條件の公表を爲さしむ可く無條件屈伏を見る迄は兵を戢むる事勿れと謂ふにあり（巴里電報）

◇米官憲論評差控

大統領對獨回答を爲さざる爲め

ウ井ルソン大統領は未だ對獨回答を爲さざるより米國官憲は獨逸講和提議の論評を差控へ居りされど獨逸と如何なる商議を開始するにもせよ戰爭を中止する事無かる可しとの意見は萬人一致せり唯だ問題は大統領がよし戰爭を繼續すとしても尚ほ談判を行ふの件に就き聯合國の考慮を求むるの意ありや如何に在り（華盛頓電報）

◇米紙講和提議評

米國新聞紙の獨逸提議に對する論評は何れも『非妥協的回答を爲す可し』又は『無條件降伏を前提として和を請ふに非ざれば商議を許す可からず』と謂ふに一致せり（華盛頓電報）

◇米墺提議案接受

米國政府は墺太利の講和提議案を接受せり（華盛頓電報）

◇獨軍總退却準備

戰線後方に於ける都市に放火す

獨軍は今やリールよりランスに至る戰線の後方に於ける都市に火を放ちて之を燒きつゝあるが之れ明かに獨軍が總退却を爲さんとする準備なり（巴里電報）

◇義和團賠償免除

支那日本の厚意を感謝す

日本が今回免除したる義和團事件賠償金額は約三千五百萬圓の巨額にて支那政府は日本の厚意を感謝し居れり尚該金の使途は支那の富源開發より來る特殊事業の爲め使用するに兩國の意見合致し居れり本問題は昨年日本より支那に通知したる者にして新舊總統更迭を機とし實行せるもの也（東京特電）

◇滿蒙鐵道借款調印

三銀行興業債券發行協議

滿蒙四鐵道借款調印結了したるを以て近く引渡さる可き借款金額一億五千萬圓に對し興銀、鮮銀、臺銀の對支銀行團にては對外投資に充つ可き政府保證の興業債券發行の協議中なり（東京特電）

△前渡金交附 岩佐興銀理事談＝滿蒙四鐵道[illegible]前渡金四千萬圓は支那當局と[illegible]支投資團たる興銀、鮮銀、臺銀三行との間に契約調印を了せるを以て近く支那政府の請求を俟ちて交附さる可しと（東京特電）

◇西伯利軍團編成

◇參謀督辦處擴大

◇副總統選擧期日

◇米穀收用令と農相意見

山本農相は八月米穀收用令及び暴利取締令は存續すべきも其適用に就ては最も愼重の要意を加ふ可き旨を言明し尚米、籾、輸入稅撤廢に就ては前內閣時代に政友會が反對したる爲めに實行不可能なりしも今回は外米輸入の障碍を除去するは目下必要の政策と思惟する旨聲明せり（東京特電）

◇原首相邸訪客

八日午後一時半より西園寺侯同二時半より牛田子同三時より波多野宮相は原首相を官邸に訪ひ某要件に就きて會談せり（東京特電）

◇東京株引値

八日の東京株式先物後場引値は東株百六十九圓三十錢同新株百三十七圓四十錢鐘紡株二百四十三圓四十錢東拓株七十六圓十錢滿鐵新株九十六圓三十錢郵船株百九十一圓十錢朝鮮郵船株三十三圓六十錢なり（東京特電）

◇東京期米相場

八日の東京期米は高値三十二圓七十九錢安値三十一圓九十錢引後三十二圓七十五六錢なり（東京特電）

◇侍從武官著長

聖旨を齎して北行の途にある中村侍從武官は八日午後五時來長各官民の出迎へを受け大和ホテルに投宿九日早朝より司令部、野戰倉庫、兵站司令部、患者收容所、病馬收容所其他を臨巡し十日午後一時後の南滿列車にて北行の豫定なり（長春特電）

◇早稻田大學幹事

早稻田大學幹部組織替は八日開會議長大隈侯、學長平沼博士、維持員々長大隈信常氏其他理事、監事を選任せり（東京特電）

◎軍事郵便規則

遞信省令を以て西伯利及び北滿洲方面に於る軍事郵便規則を制定し發表したるが朝鮮に於いても軍事行動地域が從來の規則適用の範圍外なるを以て內地同樣規則制定の必要あるを認め十日附官報を以て府令にて發布即日施行さるべし

◎鐵道上半成績

四月より九月に至る本年度上半期に於る朝鮮線運輸收入狀況を聞くに其成績は前年度末の好況を享け概して良好なりしに加へ八月末より期末に亘り特別輸送ありたるを以て前年同期に比し著しき增加を示し居り即ち乘車人員は四百一萬五百人にして此を前年同期に比すれば實に八十四萬人を增加し貨物噸數は百二十六萬八噸前年同期に比し九萬九千噸の增加を示せり收入は旅客收入に於ては三百七十八萬九千圓を算し前年同期に比すれば九十九萬圓を增加し貨物收入は三百九十七萬圓にして前年同期に比し百十九萬圓增加運輸收入に於て七百七十六萬圓前年同期に比し二百十九萬圓の增加にて何れも前年同期に比し著しき增加を示し居れり今假りに特別輸送の分を除外するとも前年同期に比し收入に於ては二割五分の增加に相當し居れりと

米價根本調節

收用令廢止の理由如何

政府は米穀收用令並に暴利取締令を廢止する事となれる旨東京電報は傳へ來れるが右に付某有力者の談に曰く

米穀收用令 の如き米價暴騰の勢ひを抑壓せんとする施設にてその一般的に世上の問題となる程効果の顯著なるや否かは疑問なり暴騰せんとする米價は之れを眞正面より壓せんとするも何れにか噴き口を見出し到底能はざるべし仲小路前農相の米價抑壓策は結局其効果の疑はれし譯なるが一面より觀れば追つ驅け的の觀あり山本新農相は米價の調節に收用令の適用等をなさず乃ち人爲的の抑壓策を講ぜず徐ろに萬全の米價調節策を執らんとするもの如し之收用令並に暴利取締令等の廢止となりたるなるべし然らば萬全の

△米價調節策 とは如何なるものなるやと云ふに最近世上に傳へらるゝ如く定期米の受け渡しを現行の如く局限せず外米にも鮮米にも擴張する事を主とし外米の如きは全廢若くは著しく[illegible]て何者にもその[illegible]る事鐵道船舶[illegible]用し米穀の平均分布を圖る等の方法を講ずるにあらざるか米價の調節は之等の點より來らざればその實効は期し難きなり唯內地有產階級中に於ける資力の充實は著しきものありその資金が買米の思惑となり米穀の買占を行ふ如き事は從來もありしが之等の頻發が米價の不自然なる

△暴騰を誘致 するやも圖り難し然も左樣の點に就ては適當に警察力を以て取締らば必ずしも不可能ならざらん更に收用令の廢止理由には豐作を傳へらるゝは早稻中稻の新米が內鮮を通じて續々市場に現はれつゝある事も數へざる可らず勞昨今の米價は之れを頂上と見て差支なく前途低落の氣勢にあり此點より云ふも收用令等は其必要なきに至れるなるべし

◎客月貿易

二千八百三十九萬餘圓

累計二億三百卅九萬圓

九月中に於ける朝鮮貿易額は輸移出一千四百六十一萬餘圓輸移入一千三百七十八萬餘圓合計二千八百三十九萬餘圓にして

△前年同月に比し 輸移出七百九十七萬餘圓輸移入五百七十五萬餘圓合計一千三百七十三萬餘圓を增加せり而して一月以降累計貿易額は輸移出九千七百九十七萬餘圓輸移入一億五百四十二萬餘圓合計二億三百三十九萬餘圓にして入超額七百四十四萬餘圓を計上し之を前年同期に比較するときは輸移出三千四百五十四萬餘圓輸移入三千四百六萬餘圓合計七千四百六十萬餘圓を增進し入超額は五百一萬餘圓の減少を示せり次に輸出貿易の內容に就き前年同月と比較觀察するに輸移出貿易に於て米は輸出向き不振なりしも內地仕向は依然盛況を極めしを以て數量八萬四千餘石價額

△二百五十六萬餘圓 の增加を示し銑鐵は製鐵所設備の進捗に伴ひ產力益增大せしに因り輸移出額三百七十九萬餘圓を計上し引續き南鮮沿岸の豐漁に依り魚類の出荷四十二萬餘圓を增加し其他生牛の二十三萬餘圓鐵及鋼地金の各十一萬餘圓等は增加の主なるものにして減少せしは市場總者の稀薄に基く小麥の四十四萬餘圓原鹽の不足に伴ふ分の十四萬餘圓原鹽の十二萬餘圓牛皮の十一萬餘圓等なり移入貿易の穀類の叙上の如く前年に比し十二萬圓餘の增進を告げしは硬貨米及び鐵類の移出盛況を呈したるに因るものにして之が爲め漸く出廻の

▲兆候を現出し來 りては減少せるは組織物の十二萬餘圓綿絲及び同附屬品の十一萬餘圓綿布類は地方の好況と先高見越の思惑取引とに因り入荷盛況を呈したるを以て增加額十一萬餘圓他の需要品は一齊に增加を示せる萬餘圓を算するに過ぎずして其の移入旺盛にして諸機械七十一萬餘圓を增加し其他紙類二十萬餘圓砂糖十五萬餘圓日本木棉十二萬餘圓天竺布十萬餘圓粟十二萬餘圓小麥粉九萬餘圓砂糖八萬餘圓の增加にして結局輸移入總額に於て七割餘の增進を示すに至れり

◎東拓意嚮

黑鉛界救濟資金の融通問題

東拓當局の談に朝鮮の特種鑛物として黑鉛が昨年來非常の發展を招來せし一兩年來非常の發展を招來せしに

▲米國の禁輸 に際會し暴落を來し殊に最近甚だしき悲境に沈淪せしは斯界のため甚だ遺憾に堪へざる所なり此點の救濟に付黑鉛の本場西鮮方面當業者の代表たる藤井氏八日來社し黑鉛生產品に對する金融に關し一應の交渉に接したるが會社として黑鉛價格の前途に多くの樂觀を有せず乃ち米國禁輸の何れの日に解除せらるゝか不明なるも若し戰爭の終局遠からざらんか須軍需鑛は到底米國市場に於て精良なる販路を發見し得る望みは甚だ少なく從つてその他の市場は戰後期待し難き也然れども此際何等か金融方法を講ぜざれば

▲特種鑛物の 命脈に關し出來得る限り便宜を圖りたきも多數の黑鉛業者に對し生產品を提供すとせば一々に保附けを爲す如きは不可能の理由にて無く金融の便を得たしとの由なれば大小當業者の連帶責任を求むるの外なき次第にて然らんか黑鉛業者の大手筋は到底承認せざるべく藤井氏の如き難色あるに似たり故に結局は

▲大手筋數者 に對し從來金融する事とし如何と思惟す然も以上の方法により幾干の程度まで黑鉛界の悲境を救ひ得べきかは疑問なるも當社として是れ以上の方法は事實上不可能にて當業者の希望には應じ得ざる

▽事實上一頓止め 目下黑鉛界は殆ど[illegible]剩にて目下西鮮方面に於ける黑鉛の[illegible]

◎中華民國國慶日と祝賀

十日は中華民國國慶日に相當する故同民國總領事館より通知ありたり

◎東亞經濟會講演會

東亞經濟會にては今十日午後六時三十分より市內長谷川町銀行集會所に於て第一回通俗經濟講演會を開催すべく其の講師左の如し

一、朝鮮に於ける化學工業に就て 中央試驗所技師 岸山

一、內地植民と海外植民 東洋拓殖會社植民課長 二宮

一、現世界大戰の與へたる敎訓 朝鮮銀行理事 片山

◎白國總領事出發

京城駐在白耳義總領事は愈九日午後横濱轉勤を命ぜられたるが九日午後家族同伴赴任の途に就けり

◎市川參謀長歸任

軍參謀長市川堅太郎少將は嚢に攻防演習見學の爲め內地出張中なりしも九日夜龍山歸着歸京す

◎林長民氏通過

故湯化龍氏の遺骸引取の爲め東上中なり

◎間島戶口激增

比年間島戶口の激增は驚く[illegible]

鳥瞰雜俎

[illegible]

◎馬越氏通過期

大日本麥酒社長馬越恭平氏は奉天より歸京の途十日午後七時二十五分南大門驛著同五十分發列車にて通過すべし

◎加藤本社長

上京中なりし加藤本社長は九日午後九時十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎重要電報

號外にあり

人事往來

▲久保陸軍獸醫監 滿洲出張中の處午後七時五十分着列車にて入京
▲淺田總務局長 豫定の如く八日夜九時四十分發列車にて滿洲視察の途に就けり
▲三宅田百太郎氏（三菱合資） 九日夜入京天滿樓へ
▲野上澄浩氏 東京電氣會社員 同上
▲阿部東京商氏（朝鮮日報社）同上
▲由比中佐（中央試驗所技師）程鎮國一行二十七名 九日夜入京旭金へ
▲松井縣敎育視察團八名 九日來京

課題及募集規定

[illegible]

晩夏秋冷の今は胃や腸の弱き人が最も注意を要すべき時なり

秋口の今は氣候の變化非常に甚だしく、加ふるに夏の暑さにて胃腸が自然に弱り其活動力が鈍り居る爲め兎角種々の胃腸障害を惹起し易き時なり殊に昨今は腸チブス、赤痢、胃腸カタル等、各所に流行し猛威を逞ふし居れば尙更胃腸の衞生には萬全の注意を拂はざるべからず。氣候の關係により、たとへ食慾昂進するとしあるも、隨て適度の量を過す時は飲みすぎ、食べ過ぎ等より來る消化不良症に陷り遂に慢性の胃病となる事あり。若し諸君にして其原因の如何を問はず少しにても下記の症候に思ひ當る人あらばソハ胃病乃至胃腸病の原因なる事を覺り速に胃腸の强健法を守り信用ある良藥を服用せざるべからず

胃腸の藥は世上に其類極めて多し、サレドあらゆる胃腸藥中ホシ胃腸藥ほど諸君が信頼し得る良藥あるを聞かず（其理由は）ホシ胃腸藥は規模の宏大なる事設備の完全なること東洋第一の同社製藥工場に於て據陣長石津藥學博士の指導の下に多くの專門藥學士が研究の結果學理と實驗とを應用して製出する現代胃腸藥中最高權威の品なればなり。さればホシ胃腸藥の服用者は總ての胃腸病を治し强健なる胃腸の所有者として其健康を誇り得るに至るべし…………！

適應症

消化不良の時
食慾不進の時
飲過食過の時
嘔嘈吐瀉の時
胸痞への時
胸の苦しき時
胃腸カタルの時
胃擴張の時
酒飲の出る時
二日酔の時

ホシ胃腸藥

日本で一番良い胃病の藥！
この一匙は……ヤガテ
あなたの胃病を全快に導く

定價 五十錢 一圓 試用 廿錢

△各地藥店特約店にあり

資本金五百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋南傳馬町三丁目

◇國境交通復舊

露領各地動亂以來閉鎖せる露支國境は今回交通復舊せるを以て北滿對露領方面の輸出入自由となれる旨齊齊哈爾總領事より報告せり（北京特電）

◇錢總理代理承諾

内務總長錢能訓氏は段總理辭職後十日間だけ總理代理たる事を承諾せり正式後繼内閣は其期間に組織さるべし（北京特電）

◇佛軍益々前進

佛國公報＝佛軍はシャンパニュいエクリン、サンマスメ及びマルヌ河の北方オーヂアインに前進せり（巴里電報）

[illegible]じおれるが斯る[illegible]間島の[illegible]氣運の然らしむる所にして日本人に見るも昨年九月に比し二百餘名を増し昨今は殊に龍井に入込むも[illegible]六月末調査によれば鮮人[illegible]四千五百名支那人五萬六千二百四十七人とありて昨年九月末調査戸口に比し總數に於て戸數五千二百を増し

◆[illegible]氏は前後[illegible]旅行團を引率し東京、名古屋、山田、奈良、神戸、大阪、京都地方へ往復二十一日の豫定にて修學旅行を爲すべし

▲[illegible]『出來ないものは』　十一日　十二日
▲折め爲　十二日　十三日
▲下旬付『つれぐ\に』　十三日　十四日
▲俳諧『稻』　十五日　十六日
▲川柳『宴會』　十七日　十八日
▲發表後一週間以内に到着文は[illegible]▲[illegible]呈す但何番何點と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局[illegible]

◇全山眞紅に燃ゆる金剛山の秋色（金剛潭の紅葉）

◎七分間にて沈没

★……平野丸撃沈光景　邦人船客遭難＝折柄烈風怒濤

既報の如く五日大西洋に於て敵潛の魚雷を受けて沈没したる日本郵船會社平野丸の遭難に就き日本郵船倫敦支店より郵船本社に達せる通報に據れば平野丸には船客九十七名乗組員百四十三名あり中救助されたる者は船客十一名乗組員十九名本船は約七分間にて沈没したるが日本人船客は全部遭難せり右船客中には渡邊副領事、敬正、赤岐南少佐、山本主計少監、正金銀行員氏家平治、妻子供三名の遭難の刻は午前六時にて折柄烈風怒濤に加へて濃霧咫尺を辨ぜず凄惨の光景得も言はれざりき主なる船員左の如し（東京特電）

船長英人エッチ、フレザー▲機關長中村重太郎（東京芝白金臺町）▲一等運轉士添山一馬（東京高輪北町）▲一等機關士[illegible]▲事務長志田芳太郎▲船醫津山敬三　無線電信局　角田豐二

◎恩給が尠いと豫後備の不平

但し然う澤山は居らぬ　歓迎されない軍人上り!!!

▽――山師に捲上げられた少將も居る――△

級に二割方引上げられはしたが但し現在の給額は物價騰貴の今日餘りに少額に過ぎるとあつて官吏就中下級の豫後備將校間に不平熱が高まりつつあるといふ右に就き一豫備將校は語る『少尉で一年百八十圓から二百圓まで

◇之を月額 にすると十五六圓、是では迚も恩給丈じゃ食て行けない中尉級でも三百圓止まりで月廿五圓位にしかならぬ、家族の二三人もあつては食られ樣道理がない、大尉級で勳五等功五級の勳章を有つてゐるとして月八十圓に過ぎない夫が爲め職を求めなければならぬがさて永く實際生活を離けてゐた處から

◇融通が利 かぬので餘り世間に歓迎されぬ、それでも近頃では年金許りで食てゐる人は殆ど無い有樣中には一攫千金を夢見て失敗した少佐や山師の爲すつかり年金を捲上げられた少將なぞもあるが之は恩給生活に不安を抱いたのと一つには大金が入つたので何かやりたくなる結果であらう、併

◇恩給額が 不足だからとて不平を鳴らしつつあるのは極少數である』

◎伊藤公の十年祭は來年

來る二十六日は恰も故伊藤公の十周年に相當するも滿十年の式年祭は明大正八年十月二十六日に擧行する事となり當日は宮中より特に勅使が賜はれ祭粢料の下賜あり生存せる舊友又は縁故者數百名の參拜ある筈なるが今年の廿六日は大森なる公爵邸の靈殿祭、谷中の墓前祭のみに止め單に親族故舊等の參拜あるのみなりと（東京）

◎觀兵式指揮官　仁田原大將か

來る三十一日天長節祝日には宮中に於ける賜宴は御止めの旨仰出されたるも觀兵式は代々木練兵場に於て擧行の筈にて當日　天皇陛下には第一公式鹵簿に依り行幸あらせらるべく參加部隊は近衛師團の近衛步兵第一乃至第四、近衛騎兵近衛野砲兵、野砲兵第十三同第十四各聯隊近衛工兵大隊第一師團の步兵第一同第三騎兵第一野砲兵第一各聯隊工兵第一輜重兵第一各大隊等にして諸兵指揮官は軍事參議官仁田原大將仰付けらるべしと

◎慘しい運命

魚雷に撃沈された平野丸船長

太西洋で獨艇の爲め撃沈された日本郵船平野丸の船長はエッチ・フレザーといふ英國人で北野丸のフレザー船長エフ・イー・コーフ氏と共に日本郵船設立以來の唯二人きりの外人船長である夫人は十數年前に亡くなり

▽二令息は 共に歐洲戰線に從軍して勇敢に奮戰してゐたが遂に先般相踵いで名譽の戰死を遂げたので若し今度の沈沒で殉難となつたとすれば同氏の一家は全滅したといふ悲慘な境涯である一昨年の終航海で

▽地中海を 通る時シシリー島の西方で獨艇に襲はれた時所謂千鳥足航海術を利用して難を遁れたので好評を博した人で同社では日本人船長にも未だ會て與へたことのない

▽勤功賞を 與へるべく其第一候補者に擬せられてゐた最早六十近くで頭髮は全部眞白になつてゐたが元氣は却々旺盛であつたし平野丸を愛することは子供の樣で『自分が此平野丸を去る時は會社から暇を取る時である』と

▽口癖にし てゐたし『予は常に汝と共にあり』といふイゼルの言に倣らつて『予は常に平野丸と共に在り』と云つてばかりゐた位で全く同船とは切つても切れぬ縁に繋がつてゐる（東京）

◎米國では被服類の管理を實行

其筋の發表する所に據れば米國にては今後一切の被服類の市價及び分配は戰時產業局に於て管理する事となりたる由にて之れに關する規則發表せられ靴の如きは一足の價三弗乃至十二弗と規定しありと被服の市價管理政策の實施は之れを以て嚆矢とす（東京特電）

◎情實を許さぬ性質

故中野武營氏

▼――酒は大好きで朝から飲んだ――▲

逝去した中野武營氏のことに就て澁澤榮一男は斯う語つて居る『私は三十年來中野氏と親密にしてゐるが明治四十二年渡米實業團員として四箇月間氏と起居を共にし團員間の物議や米人との折衝などを處理する時に私は氏と

▼意見を交換 して一層深く氏の爲人を知るを得た、我友とすべきは此人であることを確信した、氏は一身を社會國家に獻げて公共事業に奔走し頑固な所の毫しも無い硬骨正義の人であつた、即ち如何なる些事を斷するにも善惡を混同せず情實を許さなかつた、曾て馬車鐵道の取締時代に千頭からあつた馬の名を悉く暗記してゐたと云ふ程記憶が好く辨舌も評判も惡かつたが氏の赤誠に

▼人は感動した、酒は大好で朝から飲み會議所などで會食する時代は飯を喰はずに盃ばかり重ねてゐた私は之を心配して折々注意したことがある今や其言を呈する術も無い』（東京）

◎一時間八十仙の賃金

ボロい米國の鐵道從業員

米國鐵道總裁の命令による各種の使用人に對する増給は社外勤務者をも包含し上級者は今や一時間八十仙となり貨車、鋼鐵車製作人及び修繕人は六十三仙手傳人雜役手等は四十五仙となれり（桑港）

◎山陰線開通見込

京管局へ通知

山陰線に於ては先般暴風雨のため線路破壞其他の事故に依り列車不通區間多かりしも大部分は復舊するに至れり尚現在不通の區間は竹野鳥取間にして開通見込期日を京城管理局に通知し來れるが右に依れば竹野香住間は本月中旬香住岩美間は尚取調中にして岩美鹽見間は本月廿五日鹽見鳥取間は本月十二日に於て開通すべし因に不通期間中は津居山香住諸寄賀露の四港に第二橋立丸を運航せしむ可きが朝鮮線よりの連絡取扱はざるべしと

◎平北の初雪

平安北道渭原郡渠正面附近は九月二十九日午後四時より同六時に亘り降雪あり昨年に比し十日間早きも農作物等には大なる影響なしと

◎工專修學旅行

京城工業專門學校生徒の修學旅行は内地の主要都市及び名所、古蹟を見學するものと滿洲各地の風物狀況を視察するものとの二部に分かれたるが内地見學組は教授西義一氏引率の下に往復二十一日の豫定を以て東京、名古屋、山田、奈良、神戸、大阪、京都地方を巡遊し滿洲視察組は教授近田信勝氏に引率され往復十四日の豫定を以て新義州、安東縣、本溪湖、奉天、撫順、遼陽、鞍山店、旅順、大連地方を巡遊すべしと

從軍行

▽徹底し過ぎた支那兵

發遣記者　賢溪生

長春驛では一兩日滯在の豫定であつたが、恰度東京の從軍記者團に出會つたので、同行する事にして其日の午後一時半發の列車に搭乗する事にした、總隊司令官や驛員は口を揃へて、東清線は物騷だから潤々して居ると乘る事が出來ない、荷物が多過ぎると

◇雲突許り の苦力がやつて來て擔ぎ出して了ふ、一寸でも油斷をすると荷物が失くなる、なご脅かしたので一行は氣が氣でない、愈乘車となると總隊司令部の副官が通譯を連れて來て、我々のために特別の便宜を計つて呉れたので、乘る事だけは出來たが扉を開けやうとしてもいつかな明かない、平蜘蛛のやうになつて押し合つてゐるとこ此處へ

◇嚴つい顔 の車掌が手に鍵を持つて來たので、早速の氣轉で留を握らせると、鯖面に一杯笑ひをもらしながら、開けて呉れた、荷物は支局の高橋さんの好意で無事に運び込む事が出來たので、ホット息はついたものの、室外は混雜して來てはまるで戰場のやうで、支那人が三等車目覚けて乘り込む狀は宛で

◇死物狂ひ 革命前露西亞人が翻を利かして居た頃は、驛員や車掌が此の殺到する群集の[illegible]に混雜し奔潤した列車も愈々[illegible]となると、乘外に繞かになつて、乘客の如きは、四人乘の一室を一人で占領して居たのには、降年ら爲かされた

◇金の力は 七光り、いや、言葉は通じないでも、懲丈けは世界共通な處が、頼母しいではないか、北滿の野は行く限り、高粱の秋で蕭條の氣は襲ふて居るが、沿線到る處部落もあれば、樹木もある、荒寥な嶮峻して居たやうに、流石の廣原でない事は否々をして東清線の守備は、主要驛には

◇日本兵と 支那兵があり、各驛には支那兵が居つて、列車の到着毎にプラットホームに整列して、堂々たる威武を示して居るが、彼の日本の出兵に對する趣意は彼等間に徹底してゐないとかで、彼等支那兵は何故に自分等が東清線を守備するやうになつたかと言ふ事に對しては自分だけで

◇徹底した 諒解を有つて居るので、その的外れの諒解が、[illegible]ないとか、恐もすると列國の懇請に依つて、東清鐵道を守備するのだと云ふから、それが武威の發揚となり、威嚴の鈍重となつて現はれるから、迷惑を角も列國も閉口を擧げたものだ、それに支那兵が入る毎に整列して守備兵が一々列車に向つて

◇敬禮する 處なんかは、餘程鐵道守備が有難いものと見へる、米國は鐵道にコビリついて離れぬ、支那は列車に敬意を表する、非禮へ來ると一寸其の中が變つたやうに思へる（東清線車中にて）

◎岡山縣視察團歡迎會

岡山縣鮮滿視察團一行二十二名は十月十日午前九時二十五分南大門驛着同十二日午後九時十分南大門驛發北行の豫定に付在京城の同縣人は十一日午後六時より朝鮮ホテルに於て一行の歡迎會を開催する由出席希望者は京城府廳大山一夫氏若しくは朝鮮ホテル迄申出でられたしと會費は金武圓

◎ちぶやの賣出し

市内本町ちぶやにては十月五日より十日間二階に新柄陳列會を開き各種の珍柄豊富に取揃へあり尚ほ十日より十五日間每年の通り見切品大賣出しをなし併し成格の見切品を廉價に提供する由

◇麴屋殺しの情婦　忠信の秘密（一）

市内某病院の悲喜劇

犯罪學上の標語を借りて

人々はその大詰を見知つて果せる哉間もなく戰慄すべき慘劇は演ぜられた

◇意氣な年增女

三月中旬の或日、正午十二時頃京城明治町の某内科病院の玄關で腕車を降りた意氣な年增女があつた黑縮緬の羽織を格好よく肩にかけ海老茶の地色に黑の堅縞を配した遊好みな長襦袢の裾を捌いて診察室に入つた時からその女は病院内の總ての人々から注意の焦點となつた、女は肖像畫家と云ふ病名で其日から同病院の病室に起臥する事となつたが日が經つに伴れて女を中心とした恐ろしい秘密の扉は開かれるやうになつた

◇『忠信の秘密』の女主人公

◇恐ろしい悲劇

そして約五十日の間と云ふものは其女をヒロインとした悲喜劇が女の病室を舞臺として殆んど毎日に演ぜられて居た、此のお芝居を見物させられた看護婦や他の入院患者はその場面々々の興味よりも大詰の舞臺がどんな風に結ばれるかを氣遣つて居た果せる哉その女を中心とした恐ろしい悲劇は其後五箇月を經過して演ぜられた、時は九月十九日の白晝、所は京畿道始興郡城北山の絶頂で演ぜられた全鮮の人心を震駭せしめた殺人強盗事件が即ち大詰の舞臺面である

◇女は誰あらう

彼女は恐るべき兇漢　犯人都野川の情婦忠信

其の女とは誰あらう麴商殺し犯人都野川義雄の情婦で藝妓忠信のことである、此の忠信が今度の殺人者であるか或は罪の幇助者であるか、今彼女は都野川と一緒に京城地方法院檢事局の取調べを受けつゝあるので如何な斃が付くか分らないが記者は今犯罪の裏には女ありと云ふ言ひ古した犯罪學上の標語を借り殺人強盗犯人都野川義雄の陰に隱れて絲を操つて居た傀儡師藝妓忠信の身邊に絡まつた秘密の斷面として某病院内に於ける彼女の生活を紹介しよう

濟生堂　鍼灸療院　藤井百太郎　京城本町三丁目百利橋
私の専門は、胃腸病と婦人病とですが、其他の病氣と雖も、永く病床に呻吟して居られる方があつたなら、一度は是非、私にお診せて下さい、さすれば、私は誓つて其の責に任じ、併せて諸君の誠實なる、治療上の相談相手ともなりませう。治療時間午前八時より午後四時限り

購買入札　西大門監獄納入豆五百石　詳細ハ大正七年十月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

大好評!!　行李詰死美人事件　空前の大盛況に付　十日迄日延　黄金館

京日案内　普通七拾錢番外壹圓　一回前金（[illegible]）▲御申込中途廢止の場合は料金不返戻▲六回以上の御申込は特に[illegible]▲御照會には返信附にあらざれば回答せず

▲代診生入用　希望者は履歴書携帯面談あるべし　平壤大和町　藤本病院

恩給　日歩[illegible]　利子本人直接取扱　櫻井町一ノ一九八　電話二五〇番　博多屋本店

沙金青金高價買入れ　一般被下出張可仕候　京城旭町一ノ七　中村分拆所

高級事務員一名普通事務員數名　希望者ハ履歴書送ン面談決定　京城北米倉町　朝鮮興信所

鍼灸術　貧困者は施療す　リョーマチ、脚氣、肋膜、胃腸、眼病、婦人病[illegible]　京城黄金町三丁目郵便局西　電話一〇八七番　大坪鍼灸道

有給外務員招聘　有爲的人士を望む　希望者は本人履歴書持參來社あれ　長谷川町　帝國公債會社支部

内地人女子募集　二十歳迄　履歴書携帯庶務掛にて承合すべし　龍山　總督府印刷所

店員入用　年令十六七才四十四五才迄　市内に身元保證人を要す　仁川新町　野田紙店

恩給立替　金は證書引換に御渡し致します　地方は規定書送呈す　京城府若草町郵便局前　電話二〇三七番　西村商會

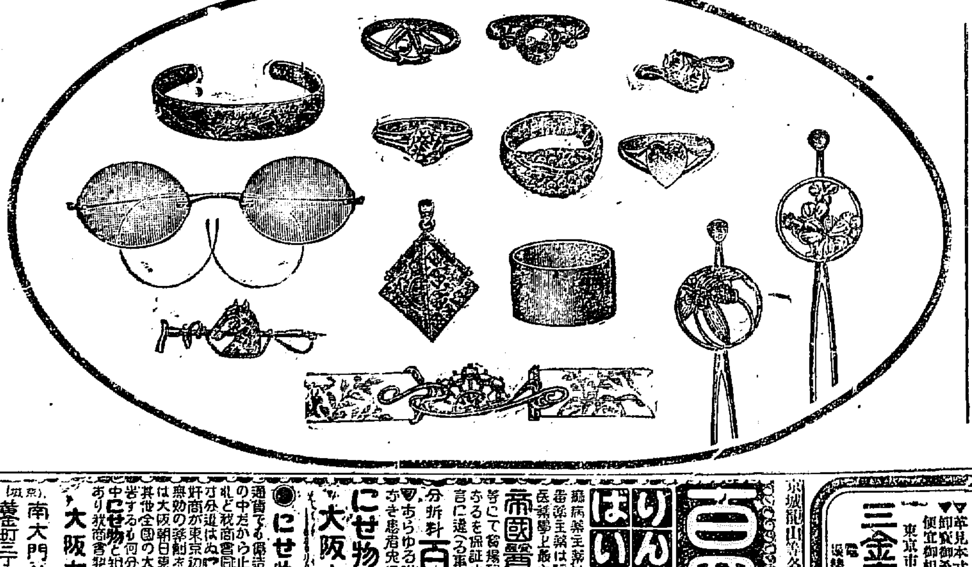
店員入用　年齢廿五歳以下の者　但市内に確實なる要保證人　本町二丁目　電話二三五　江頭衣服店

ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

毛皮なめし仕立　鳥獸毛皮鞣製[illegible]　京城本町二丁目[illegible]

恩給年金　低利長期間時立　保證人不要　京城永樂町一　電話長二〇六五番　江州屋本店

店員入用　二十才以上二十五才まで　確實なる保證人を要す　黄金町二丁目　川本衣服店



村木時計舗京城支店（電話四七一番　振替京城三一九〇）

新製品多種荷揃

◎京城地方監督社員招聘
月俸五拾圓以上及旅費支給　希望者は京城本町巴城館内小田主事へ履歷書携帯至急面談アレ
福徳生命保険株式會社
社長　川崎芳太郎
主事　小田太喜三郎
人格ある三十才以上の鮮人通譯數名採用希望者履歷書携帯本人來談□面會時間午前中午後七時より

少年少女の好讀物
八島柳堂先生著　古賀雄祐畫
教訓お伽噺
總クロース美本二百七十頁　定價三十五錢
面白い、面白いおはなし
悲しい、悲しいおはなし
讀めば、屹度お爲になる
發行所　京城大平通　京城日報社代理部　振替二〇〇番

十月十日より十二日迄三日間
冬物大賣出し
見切品と今春殘品の驚くべき安直
龍山元町　こまや　植西呉服店

新式耐水調　新田帯芯
朝鮮總代理店　京城本町四丁目　白神洋行
京城南大門外　白神洋行支店

東京三金の靴

ボックス革編上　一號四圓五十錢　二號五圓五十錢　三號六圓五十錢　四號七圓五十錢
ボックス革短靴　一號四圓五十錢　二號五圓五十錢　三號六圓五十錢　四號七圓五十錢
ボックス深ゴム　一號五圓五十錢　二號六圓五十錢　三號七圓五十錢　四號六圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足の寸法を知らせ下されば代金引換にて御送附申上候
▼革見本寸法用紙進呈　▼御便宜御希望の向は特別割引にて御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇　振替東京一七二三〇

京城龍山等各地に僞物あり御注意
百圓呈進　りん病　ばい毒　藥價[illegible]
帝國醫科大學病院[illegible]
分析料百圓進呈
◎あらゆる治療をあせり効なき患者は直に御來談あれ
大阪有田　にせ物　東京其他各地にせドラッグあり
◉にせ物と奸商　通貨でも僞造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同様の看板を掲げ才分證はぬにせ物を賣る奸商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は[illegible]
大阪有田
南大門外　黄金町三丁目　ドラッグ商會
龍山練兵場前停留所　ドラッグ商會
大阪　三休橋　ドラッグ　京城南大門外停車場通

妻の心　百十六

十八の七　小林蹴月作　武内桂舟畫

『妾からその事を御説明申上げるのさへ、もう涙が先立つばかりで。』と、お俊は、泣きながらの聲を振り搾つて、

『お包み申した所で、詮もない事ですから、妾有の儘を申上げますけれども、旦那様……お可愛さうに奥様は……あの禮子さまは、氣が狂つてお了ひになりましたんで御座います。』

『なにツ、禮子は本統に氣が狂つたと云ふのか？』

久三郎は、流石に腕を組み合はして、眼を閉ぢながら、熟と考へ込んだのである。

『只斯う申したばかりでは、妾が噓を申すか、左もなければ、奥様がほんの一時のヒステリーでもお起しになつて、表面丈の狂氣病でも裝つて居るのであらう位に思召すかも知れませんが、必ず〱、そんな譯では御座いませんので………………朝から晩まで、お身體を椅にでも遊ばした事はなく、ちやんとお机の前にお坐りになつたぎり眼を一杯にお啓きになつて………お居の邊で苦しさうな呼吸を遊ばしながら、それは〱淺猿しい物遠い御許にお成り遊ばし、それで折々血を吐くやうなお聲で………旦那様――旦那様――と、貴郎様の事をば慕はしさうにお呼びになつては、お居間に御座います彼の貴郎様の神綺の御寫眞を穴の明くほど睨み詰てお在遊ばすんで御座います。妾が何も事を好んで、旦那様のお讒言に抗致すんでは御座いませんが、萬々一にも櫻井さまと奥様との間に、旦那様の被仰るやうな穢らはしい關係が御座いますものなら、何も彼様に然う氣のお狂ひ遊ばす理窟も御座いますまいし、旦那様の事ばかりお慕ひになる筈はないでは御座いませんか。其で御座いますには、旦那様、關山醫士の被仰いますには、禮子さんの今度の發狂ばかりは、永い間の心配煩悶や苦勞の結果が昂じに昂じて、神經も身體も兩方共に衰弱と疲勞のどん底に達して了つたので、もう藥や滋養分を注入する餘地がないのみならず、刻一刻と最期の運命に近づきつゝあるから、理由や事情の奈何に拘らず、寸時も早く御主人公を出先から呼び戻して一目たりとも會はしてやるのが、人の爲めに最上お盡し功德であること………只今では別段町川家に關係のない妾では御座いますが………其方にも此方にも氣心の分つてるお前だからこそ仰しやつて、態〱妾をお呼び下さいましてのお話なんで御座います。情顧旦那様、此處のお話をお聞き分け〱……只つた三十分でも宜しう御座いますから………』と、お俊は、眞劍の眞劍――額を疊に埋め込まぬばかりである。

『………………。』

久三郎は、斯くても尚同じく唇を緊んで、思案の小首を捻くるのみであつたが、稍過ぎてから後、今までとは變つて極めて重さうに口を開いた。

『それではお俊、禮子の氣の狂つたと云ふのは、約そ何日頃からの事かね？』

『さあ、妾もお側に居つた時とは違ひまして、精しい事は存じませんけれど、女中どもの話に依りますと、お袋さまと大層烈しく御口論を遊ばして、そのお書付に爪印とやらを遊ばした晩からの事だと承はつて居ります。』

『ふーむ。して見ると、それは今から五六日前の事らしいが、例のお袋や櫻井の奴は、矢張看護の爲でも執つとる模樣かの？』

『なか〱何う致して、お袋さまや櫻井さまが一寸お障子の外までお近寄り遊ばしても、ちやんと禦縦の感じで、御承知なすつてお在遊ばすものと見ゑまして、きつい〱目を瞬つてお睨み遊ばすもんですから、櫻井さまは勿論、實のお袋さまさへ、恐ろしさにお側へはお寄り付きになられないとの事で………。』

『はゝ、はア、然うか、それで少しは乃公もお前の云ふ所が、滿更不合理でもないらしいやうに思へる。ではのお俊、乃公は直に後から、驅付けて行くから、お前は一歩先へ歸つて、出來る丈禮子の精神が落着くやうに、氣を付けといて貰ひたいね。』

放縱で不品行の譏りこそ免れないが、本來が悪黨でも詐欺漢でも何でもない町川久三郎は、忠實なるお俊の物語に依つて、多少は積年の迷夢から醒めかゝつて來たらしいのである。

神經衰弱の話　＝療法＝

目下最も諸所で試られて居るのはリングル氏液、又は生理的食鹽水の靜脈内注射であるが兩者の間には大差がないやうである

◇其方法は　勿論醫者と相談せねばならぬが一回三百グラム位宛隔日或ひは三日目毎位に靜脈に注入するので嚴重な消毒を行ふのは勿論である。少くも五回或ひは十回位は必要である。次に强壯性神經衰弱者と強壯劑との關係である之は

◇其患者の　營養状態にもよるが理論から考へては單に一般に用ゐる強壯劑と稱する者よりは新陳代謝を盛にし細胞の機能を活潑ならしめる意味の强壯劑を選ばなければならぬ、それには余はフイチン製劑を最も可とするのである、近來此フイチンに鐵を

◇化學的に　合成せしめて造つた鐵フイチンなるものが瑞西のある製藥會社から發賣されてあります之は殊に腺病性神經病的質者には最も妙である、昔時單に腺病質と稱へられてあつた淋巴體質の小兒等に適當な滋養劑である

◇殊に錠劑　であつて味が非常に服用し易く拵へられてある一日二十錠――三十錠を三度分けてのめばよいのである、唯だ此の藥が日本へ來て居るかどうかは分らない(終り)

毒の茸

知らずに食べて一命を失ふことがある

茸狩の季節が來ました秋の行樂中第一に數へられるもので雜木林や松林の雜草を掻き分けながら茸を探すのは誠に趣味の深いものであります併し松茸とか初茸とか『しめぢ』とか名の聞こゑて居る茸はよいですが、若し

◎名の知　れぬやうな茸を取つて食ますと夫れが非常な毒菌であつて往々一命を失ふやうなこともありますから注意が肝腎です餘り形の變つて居るのは初めから

◎警戒し　ますが間違ひさうなもの一寸美しく手を觸れ易いものなどで極めて毒なものがありますから次に擧げて見ませう『しめじ』に似て居るのに『一本しめじ』があります餘の工合から脚の形まで似て居ますが傘が上にまくれて居て色も綠黄色をして居ますから見分がつきます『かぶたけ』も形も色も似て居りますが併し足に滑がありますから注意すべきであります『初茸』に似て居るものでは『こうじんたけ』があります、一寸嵐に吹きまくられた傘のやうな形になりますが色が褐色ですから見分けがつきませう『紅茸』傘の色が紅色で美しく裏は純白で誠に綺麗ですが毒茸ですから手を觸れてはなりません、夫から宅地の隅や腐つた木の側から白いたまごのやうなものを割つて二三寸の丈になる朱かな茸がありますこれも毒茸で『すつねのあかきだけ』と謂ひます此外『からかさだけ』『ちやうじだけ』『たまごだけ』など數十種あります茸狩には十分注意して毒茸を取らぬやうになさい

◆茸料理　(しめぢの三杯酢)大黒しめぢはよく鹽洗ひにして柔かくゆで、裂き細卷をざつとゆで、之に栗のゆでたのをせん切として三杯酢で供します

書畫用　絖畫絹　京染呉服商　たまや出張店　京城本町二　電話一一九六

花火

―五の日十の日會―

□花火の色を好く母の若き手なり　浮碧樓

□遠方のなるで線香花火の匂ひけり　芹郎

□花火の明り河原がわれをすゝ迎へ　不孝郎

□花火なる醬油庫の匂ひを過ぎて來たり　清耳樓

□花火うち始め踊場の男が出て來た　眞傚

□花火まだかく水音の和かな舟底　鳥堂

□棹月池夫人

○　浮碧樓

○歡樂忘れないものになつた　芹郎

○記念俳句募集　土方伯爵題字、展谷小波、北角堂樓一兩氏を顧問とせる東京淺草田町一丁目日本俳道獎勵會は俳諧雜誌不朽改題一周年記念として全國同好者にむかひ極めて趣味ある懸賞作句の募集中なり如聞者は申込次第無料送呈の由

新刊紹介(到着順)

▲朝鮮公論(五周年記念號)　五周年記念の爲紙數を增加し大家の意見名論多く牧山主筆その平民的政治の東天紅及び物價調節の根本策を論すと題せる論説は初め趣味と實益に富む記事豐富にして賑やかなり(四十五錢京城太平町二共社)

▲三太郎の氣唄(富田正學士)　科學を根本にせし趣味ある漫筆にして理化歷史博物産業教育風俗傳説文學等に亙りて頗る多方面なり(四十五錢東京京橋木村木町三の二〇崇光閣)

▲演藝畫報(五の一〇)　極彩色の繪畫及び繪畫原色版刻、コロタイプ、アートタイプその他の寫眞版數十葉、文稱には劇評、芝居の型、歌曲研究、芝居見たまゝ、邦曲の語り方、劇界消息等記事豐富なり(五十錢東京京橋南佐柄木町十共社)

▲教育道話(安藤愛山著)　通俗な主としての話を面白く語りたる書にて卑近なる例を引きて高遠なる哲理を説けるもの(四十五錢東京本郷駒込阪下四八大日本雄辯會)

▲ミツワ文庫(十月一日號)　經濟の着眼、藤田文學士「花柳病」(小山田醫學士)朝鮮七日の旅(生漢圓三郎)藥事小説(兒玉嶽二)ストリンドベルクと其作(庚野文學士)耐水糊(拶理學士田中農學士)婦人の健康増進(小山田醫學士)米屋の荷物)其他(十錢東京日本橋區橋町四の一五ミツワ文庫)

▲日本印刷界(一〇七)　印刷專門の雜誌にして呼ばれたる印刷業と救濟手段、注文する迄のお客樣の心理、戰爭と印刷物、印刷常識、締切の時、電氣版と活字、硝子印刷其地(二十七錢大阪東區南本町二共社)

▲婦紅(四の八)　感激の頂點と飛躍、塑揺籃丸初め何作小品文、句評、翻譯、伊人消息、其他有益なる趣味充實せり(二十四錢東京下根岸八二の二九共社)

▲日本幼年(四の一〇)　綺麗な極彩色の表紙にて一錢面白き切組繪二あり坊ちやん孃ちやんの好伴侶ならん(十五錢、東京々橋區銀町東京社)

▲極東時論　七五　十八錢　東京麴町内幸町一ノ五共社

▲片戀(濱中加澄子著)　戀愛小説なり、二十五錢、東京々橋木村木町三の二〇、崇光閣

讀者の領分

▲南大門驛の小荷物掛りは近來非常に親切でよくなつた嬉しい色は青いが二十一五の男は欣雄で氣持がよかつた、どこやらの小荷物掛りの女は○○小生徒なくて〱小中住の父)▲清渕閣館で二階の特等席から此處はよく物を落す送迎者がある下の三等客の者の注意を求へてトクトヤ注意せよ(平壤生)▲健康增進法としての散歩はなく偉大な効果のある事が感じて居るのである一人ですが同好者はありませんか(歩行生)

○期米尚崩落

……び惱み居りたる折新内閣は愈〱陣頭に立つに至りたるにして區々たる人力にては抗し難……月中旬より香川縣……一日平均は八圓七十三錢餘なり……

仁川朝米

△九日後場……

……賣物に壓されて二十臺に蹴込み押目は又買物出で正進押しては返し返しては押し波瀾曲折の裡に十……

△先限二十七圓九十錢……

仁川米豆取引

九日の十二月限……

三越の大賣出

十月十日より十二日まで三日間

冬衣新柄よせぎれ見切反物澤山取揃申候

京城本町　三越呉服店

生活の上に

衛生は一日も缺かされない世の中になつた。

品質本位

花王石鹸が

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等を初め一般社會の日需品となつたのは、全く化粧衛生に最も有效な廉價の良品なるが故に。

男に限り進呈

生殖器不完全、機能障害、包皮、急慢性淋病等の安全自宅療法圖入り說明書を無代進呈
ハガキ申込者に

東京本材木町三五　新療法研究所
大阪天滿北森町一　新療法研究所
函館恵比壽町十二　新療法研究所
別府新町五　新療法研究所

純良の薬品と賣薬が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから

…御値がお安いです

京城本町二丁目角

古城贊化堂

電話一〇二番　振替七三七番

米穀調製用具

は京城の戸田春藏本店へ

▼收獲に必要なるすべての器具を整へ居候▼

◎本店＝京城南大門通

◎工場＝京城北米倉町

各種　稻扱　唐箕　萬石　篩類

▼品質を第一の標準として製作致し居り候▼